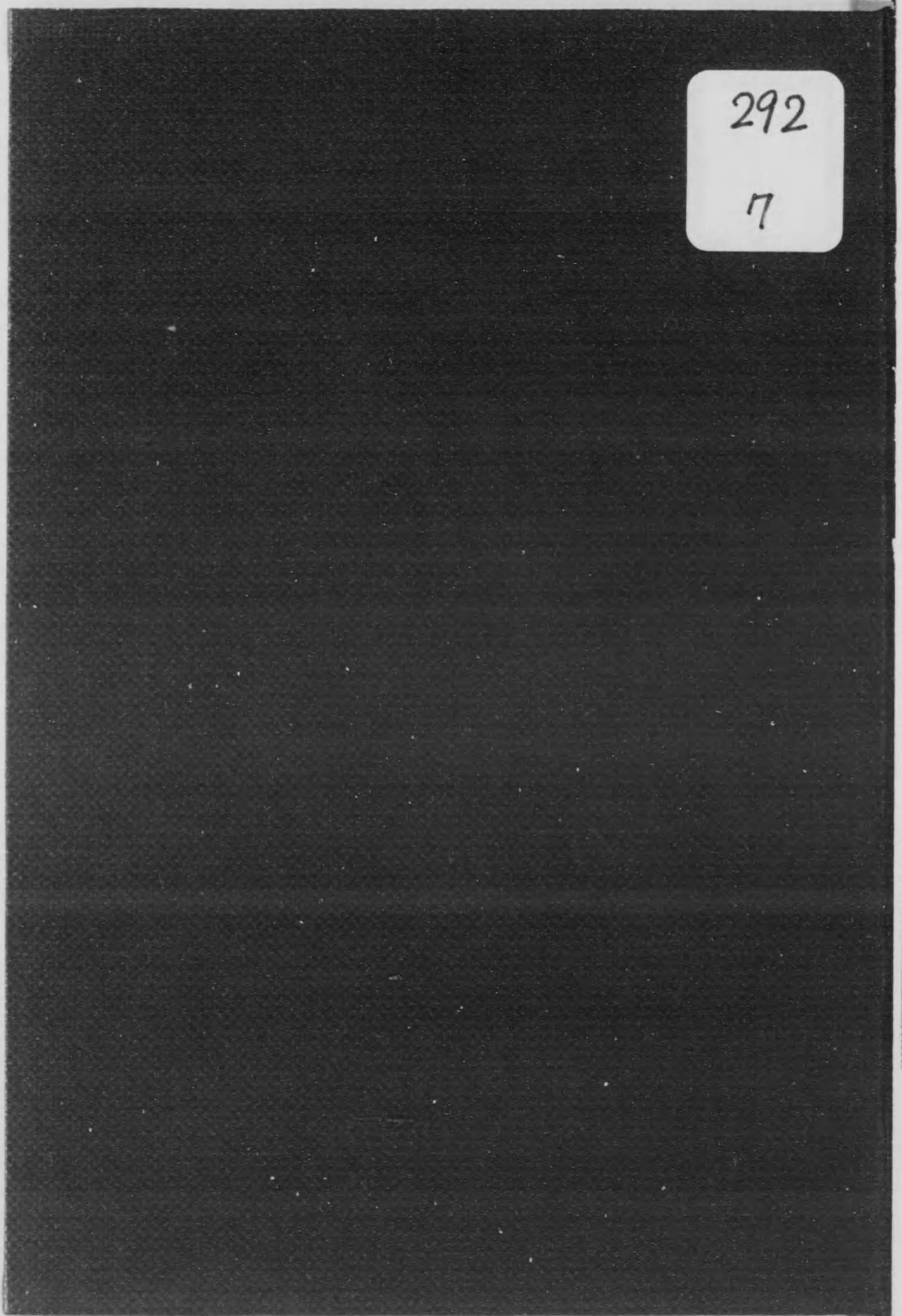


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5

292
7

始



工卜5L-69

292
7

東京美術學校一覽

從大正三年
至大正四年

✓

東京美術學校一覽目次

本校校舍教室等寫真	一葉
學年曆	一
概要	三
沿革略	七
法令	一六
商議委員規程	二九
東京美術學校規程	三〇
總則	三〇
學科課程	三一
學年學期及休業規程	四二
入學在學及退學規程	四三
特待生規程	四七
休學規程	四七
試驗規程	四八
圖書師範科規程	五〇
研究生規程	五四
選科生規程	五七
別科生及聽講生規程	五九

授業料及其他ノ費用	六〇
諸書式	六二
各科授業要旨	六八
生徒心得	八七
東京美術學校文庫規則	九〇
職員	九四
生徒及特待生姓名	一〇三
委託生及特待生姓名	一二六
卒業生姓名	一三〇
各科生徒及委託生級別現員表	一一二
各科生徒及委託生道府縣別表	一一五
各科卒業生就業別表	一二〇
各科卒業生年別人員表	一二二
各科卒業生道府縣別表	一二四
敷地及建物	一二七
東京美術學校校友會規則	一二八
敷地及建物略圖	一二八
目次終	

校 寄贈本

大正
4. 3. 17
寄贈



室教科畫洋



術美京東

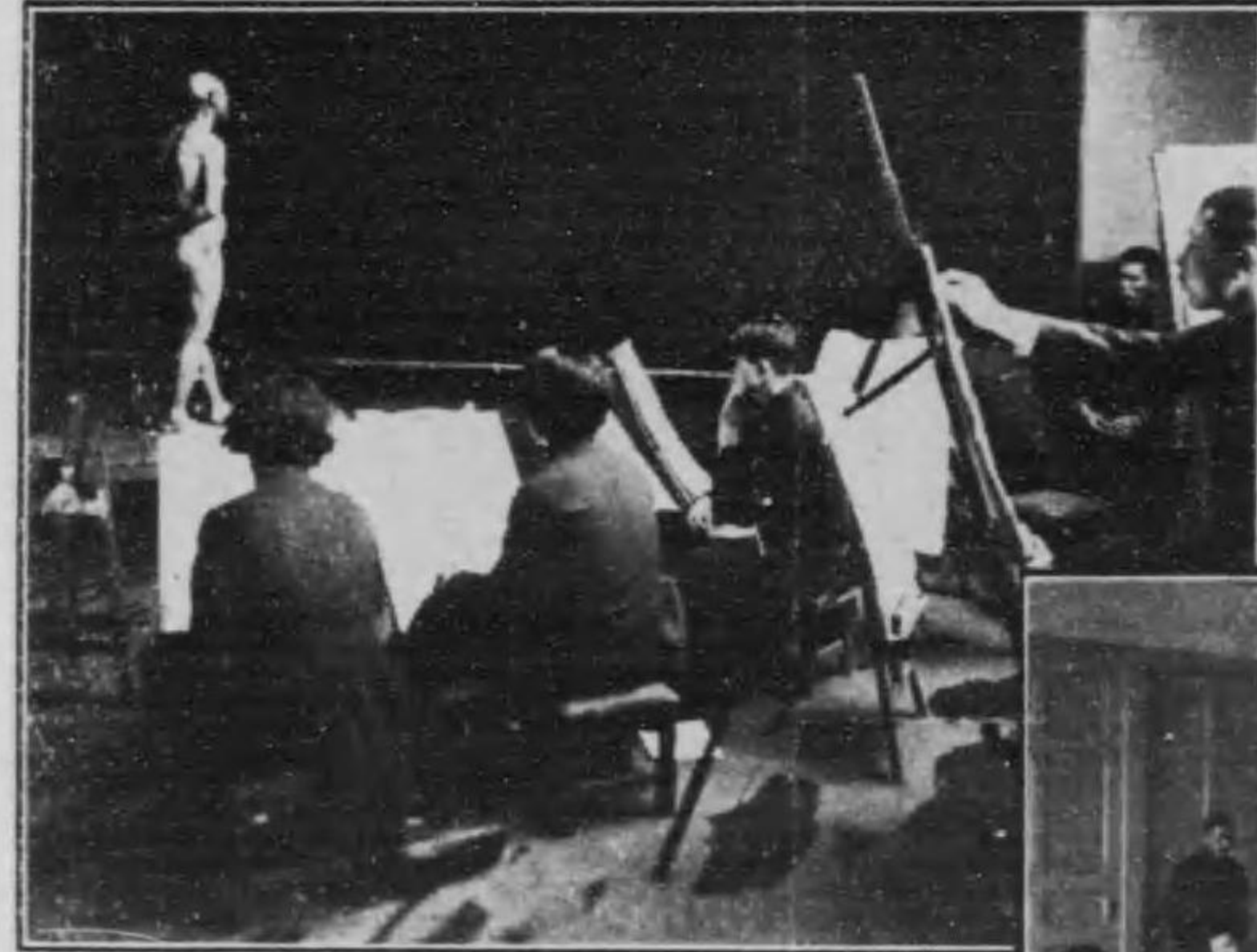


室覽閱



科刻彫





室 教 科 畫 洋 西



一 其 舍 校 校 學 術 美 京 東



室 教 科 畫 本 日



室 教 科 刻 彫



室 覽 閱 庫 文



室 教 科 案 圖

東京美術學校一覽

學年曆

大正三年ヨリ大正四年ニ至ル

學年始マル

九月十一日
秋分

休業(秋季皇靈祭)

十月四日

休業(本校設置紀念日)

十月十七日

休業(神嘗祭)

十月三十一日

休業(天長節祝日)

十一月二十三日

休業(新嘗祭)

十二月二十四日

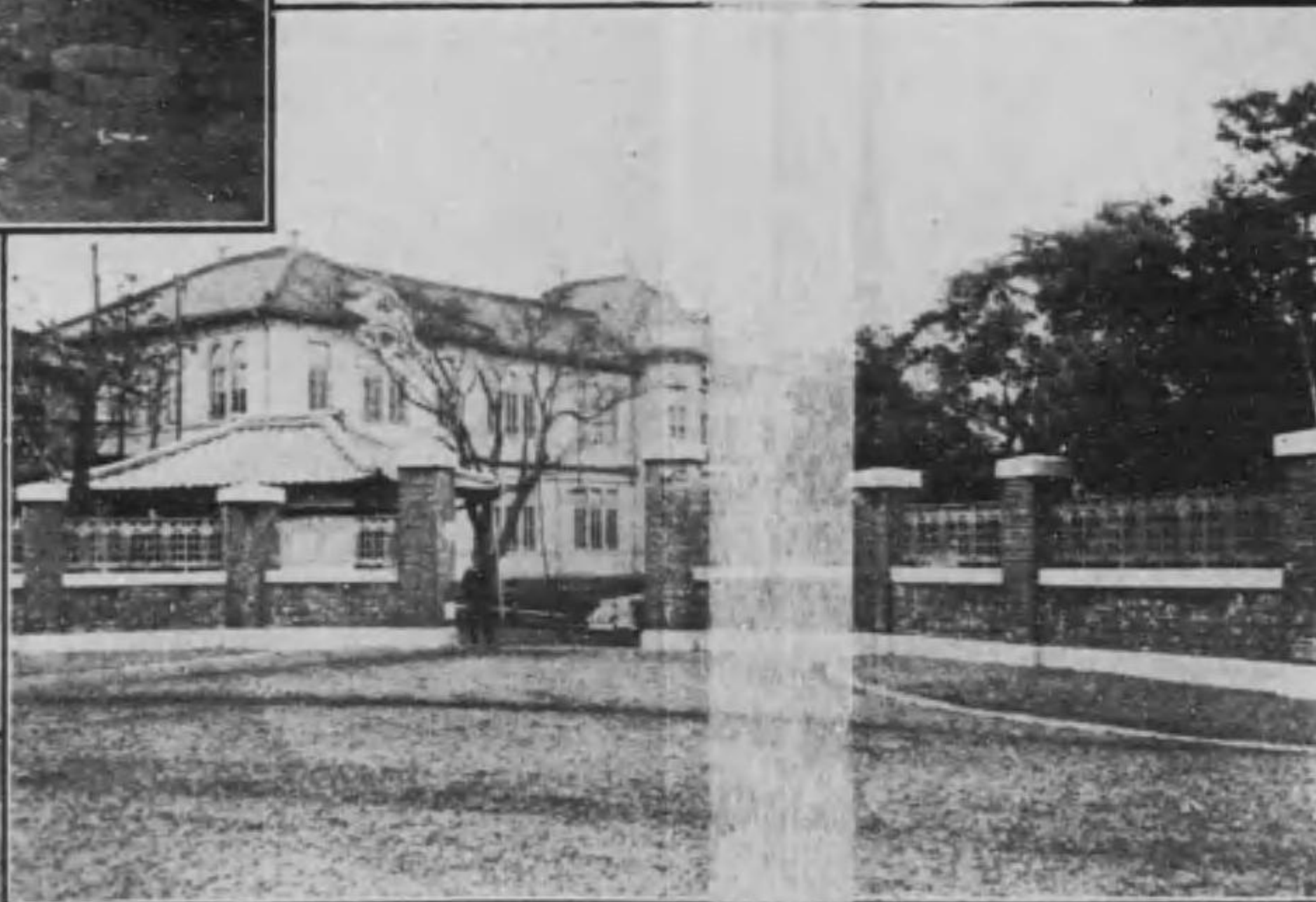
第一學期了ル



鑄造科教室



金工科教室



東京美術學校校舍其二



圖畫師範科教室



版科教室



漆工科教室



鑄造科教室



校舍其二



圖畫師範科教室



科目教室

東京美術學校一覽

學年曆 大正三年ヨリ大正四年ニ至ル

學年始マル

休業(秋季皇靈祭)

休業(本校設置紀念日)

休業(神嘗祭)

休業(天長節祝日)

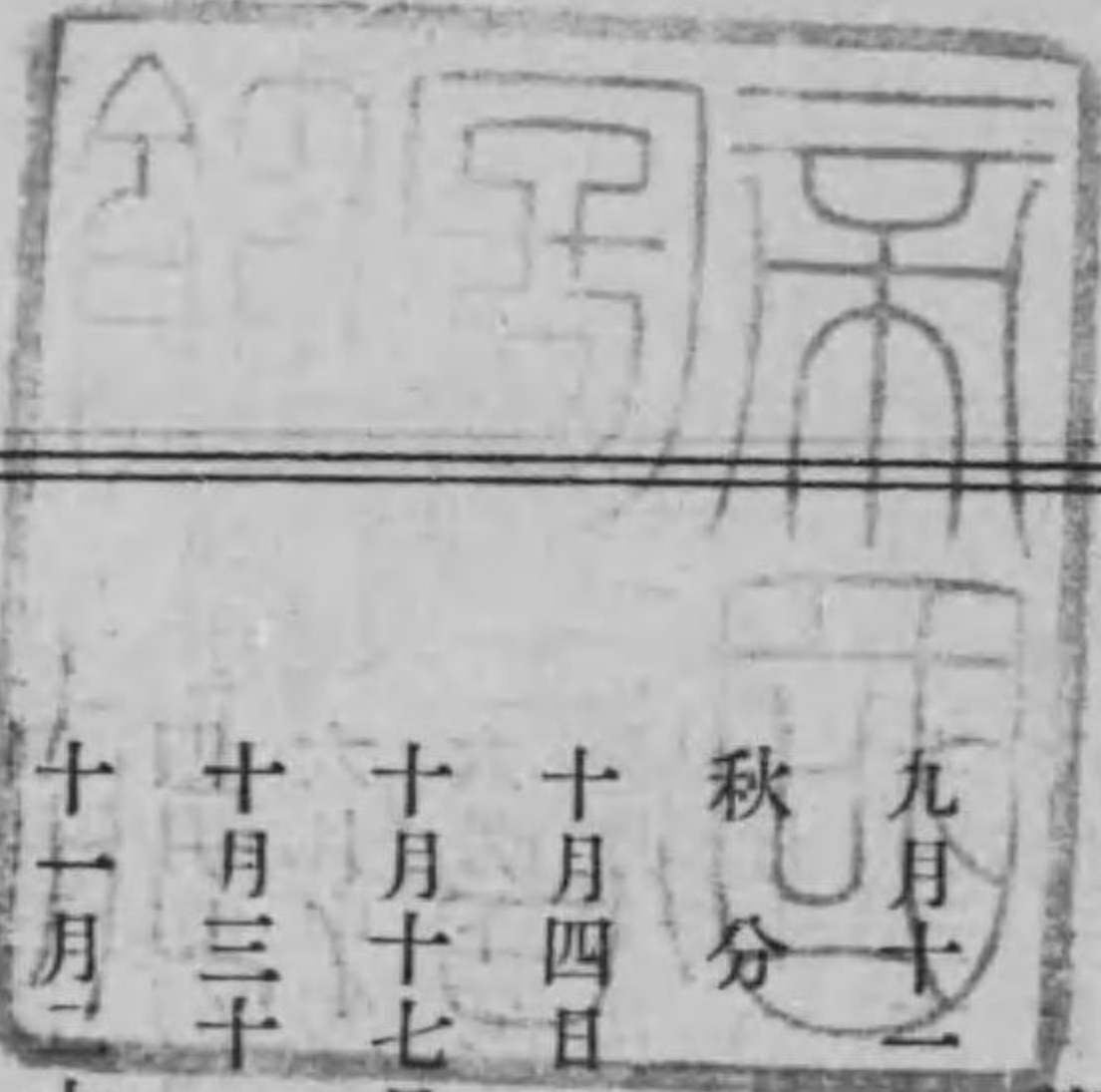
休業(新嘗祭)

第一學期了ル

冬季休業

休業(元始祭)

休業(紀元節)



九月十二日

秋分

十月四日

十月十七日

十月三十一日

十一月二十三日

十二月二十四日

十二月廿五日ヨリ一月七日マテ

一月三日

二月十一日

學年曆

三月上旬ヨリ同月中旬マテ

春分

三月下旬

四月一日ヨリ同月七日マテ

四月三日

四月中旬ヨリ

六月中旬ヨリ

六月下旬

七月十日

七月十一日ヨリ九月十日マテ

七月三十日

八月三十一日

豫備科入學志願者ノ入學願書ヲ受理ス
圖畫師範科入學志願者ノ薦舉書ヲ受理ス

休業(春季皇靈祭)

第二學期了リ、卒業期ノ試験終ル
卒業證書授與式ヲ行フ

春季休業

休業(神武天皇祭)

豫備科及圖畫師範科新入學生ノ授業始マル
學年試験ヲ施行ス

豫備科授業終リ本科入學許否ヲ定ム

第三學期了リ、學年終ル

夏季休業

休業(明治天皇祭)

休業(天長節)

選科生ノ入學及聽講生ニ關シテハ隨時本校ヨリ之ヲ公告ス

概要

本校ハ明治二十年十月四日勅令第五十一號ヲ以テ設置セラレタルモノニシテ其ノ設備、組織、敷地、建物等ノ詳細ハ別ニ記スル所ノ如クナレトモ今其概要ヲ擧クルハ左ノ如シ

位置 本校ハ文部省直轄學校ノ一ニシテ東京市下谷區上野公園西四軒寺跡ニ在リ

敷地及建物 本校ノ敷地面積ハ壹萬六千五百五拾四坪六合四勺ニシテ此ニ建設セル

建物ノ總坪數ハ四千參百八拾九坪三合五勺三才ナリ

教旨及分科 本校ハ美術及美術工藝ニ従事スヘキ専門技術家並ニ普通教育ニ於ケル

圖畫教員タルヘキモノヲ養成スル所ニシテ前者ノ分科ハ日本畫、西洋畫、彫刻、

圖按、金工、鑄造、漆工、製版ノ八科トシ其修業年限ハ日本畫科ヨリ漆工科マデ

ノ七科ハ豫備科及本科ヲ通シ各五ヶ年ニシテ各自ノ志望ニ由リテ此中ノ一科ヲ專

修セシム即チ豫備科ハ四月ヨリ七月迄、本科ハ九月ヨリ翌年七月迄ヲ一學年トナシ最後(五ケ年目)ノ卒業期ハ九月ヨリ翌年三月迄ノ二學期トス製版科ハ三ケ年トシ毎年四月ヲ以テ入學ノ期トシ三月ヲ以テ卒業セシム後者ハ之ヲ圖書師範科ト稱シ其修業年限ヲ三ケ年トシ師範學校其ノ他ノ學校ニ於ケル圖書教員タルニ適スル學科ヲ履修セシメ毎年四月ヲ入學ノ期トシ三月ヲ以テ卒業セシム又別ニ日本畫、西洋畫、圖按科中ノ志望者ニ限リ圖書教員タル課程ヲ履修セシム此他選科ヲ置キテ専ラ實技ノミヲ教ヘ各科卒業生ニシテ尙其技術ヲ研究セムトスル者ノ爲ニ研究科ヲ置キ本校生徒以外ノ者ニシテ本校ニ於テ教授スル所ノ實技ヲ學修セントスルモノ、タメニ別科生規程ヲ、學科ヲ聽カントスルモノ、爲ニ聽講生規程ヲ設ク

入 學 本校各専門ノ科(製版科ヲ除ク)ニ入學セントスルモノハ豫備科入學、本科入學ノ二途トス即チ豫備科へ入學スベキモノノ資格ハ本校規則第十條ニ規定セル中學校師範學校卒業生、又ハ專門學校入學試驗檢定ニ合格シタルモノ、檢定規程ニ

依リテ無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者、工業學校卒業生等トシ毎年四月試驗ヲ施シ入學ヲ許否ス而シテ又本科へ入學スベキモノハ總テ豫備科ニ於ケル最後ノ試験ニ合格シタルモノヨリ毎年九月ニ於テ之ヲ許シ不合格ノモノハ本校在學ノ資格ヲ失フモノトス

製版科入學ノ資格及入學試驗ハ前項ニ同シキモ唯此科ニハ豫備科ヲ置カスシテ毎年四月ニ於テ直ニ本科ニ入ラシム

圖書師範科入學ハ其資格略々専門ノ科ニ入學スヘキモノト同クシテ當該學校長ニ於テ薦舉シ其中ニ就キ毎年四月試驗ノ上本校長之ヲ撰拔ス此科ノ生徒ニハ學資トシテ毎月金六圓ヲ給スルモノト私費生(授業料免除)トアリ

選科入學ハ本科生ニ缺員アル場合ニ於テ本校規則第十章ノ規程ニ依リ所撰課目ノ實技試驗及學科試驗(又ハ檢定)ヲナシ本人ノ願ニ依リ大抵毎年九月ニ於テ入學ヲ許ス

此他研究生ハ本校ヲ卒業シタルモノ、中本人ノ願ニ依リテ入學ヲ許シ別科生聽講生モ亦本人ノ願ニ基ツキテ之ヲ許否スルモノトス

教務ノ分擔 各科教務ノ整理ヲ圖ル爲教務分擔内規ヲ設ケ各科教員中ニ主任ヲ置キ其下ニ擔任ヲ置キ教室内ノ秩序生徒ノ勤惰其他教室ニ於ケル教務ヲ分擔セシム

商議委員 本校重要ノ事件ヲ商議スル爲商議委員ヲ置ク學校長ノ推薦ニ依リテ文部大臣之ヲ命ス其人員ハ三名以上七名以下ニシテ任期ハ五ケ年ナリ

職員 職員ノ定員ハ別項法令中ニ記スル所ノ如シ而シテ其現在員ヲ舉クレハ學校長一人、教授二十八人(内五人他校ヨリ兼務)助教授十五人(内一人他校ヨリ兼務)嘱託二十人、嘱託指南三人、嘱託校醫一人、雇(助手)九人、書記六人、雇七人ナリ
休職員 休職員ハ前項ノ外教授一人書記一人アリ

卒業生及生徒 卒業生ハ明治二十二年二月授業ヲ開始セシ以來同二十四年七月初メテ特別ノ課程卒業生ヲ出シ同二十六年七月ニ至リ本科卒業生ヲ出シタルヨリ本年

ニ至ルマテ各科ヲ通シ一千二百十一人ニシテ現今生徒ノ數ハ合計五百三十三人、外ニ東京高等工業學校委託生八十九人アリ其詳細ハ諸表ニ載スル所ノ如シ

經費 大正三年度ノ經費ハ政府支出金七萬貳千百六拾四圓、諸收入ハ金六萬壹千八百九拾四圓ニシテ合計金拾參萬四千五拾八圓ナリ

文庫 文庫ハ本校授業上ノ參考ニ資スルタメ美術及美術工藝品並ニ之ニ關スル圖書標本ヲ收藏スル所ニシテ本校職員卒業生生徒ハ勿論相當ノ紹介アル技術家若クハ有志ノモノニハ無料ニテ收藏品ノ閱覽ヲ許セリ

沿革略

明治二十年十月四日勅令第五十一號ヲ以テ始メテ東京美術學校ヲ設置セラレ全年全月十四日文部省専門學務局長濱尾新ニ學校長事務取扱ヲ命ゼラル、是レヨリ先キ明治十七年七月文部省専門普通兩學務局ニ於テ委員ヲ設ケ圖畫教育ニ關スル事項ヲ調

八
查セシメ延イテ翌十八年十一月ニ至リ學務一局(故ノ專門學務局)ニ圖畫取調掛ヲ置
キ尋イデ是ヲ總務局ニ移シ終ニ此圖畫取調掛ヲ以テ東京美術學校トナス此時假リニ
事務所ヲ小石川帝國大學附屬植物園内ニ置キ專ラ學校設立ノ準備ヲナシ廿一年十月
三日本校規則ヲ制定シ全年十二月十日上野公園内ナル教育博物館ノ迹ニ移ス今ノ處
即チ是ナリ此ニ於テ生徒ヲ募集シ授業ヲ開始スルコト、ナレリ

明治二十二年二月一日授業ヲ開始ス當時猶濱尾新學校長事務取扱タリ其學科課程ハ
普通科二年專修科三年ニシテ普通科ノ實技ハ繪畫、造型ノ二者ヲ兼修セシメ專修科
ニハ繪畫、彫刻及美術工藝ノ三科ヲ設ケ美術工藝科ノ中ニ更ニ金工、漆工ノ二部ヲ
分置セリ而シテ別ニ特別ノ課程一年ヲ設ケ普通科ヲ卒リ普通教育ノ圖畫教員タラム
トスル者ニ課シタリ此中繪畫ハ日本畫ニ限り造型トイヒ彫刻トイフハ唯木彫ヲ取リ
金工ハ獨リ彫金ヲ用キタリ

明治二十三年三月十九日規則中學科課程等ヲ改正ス全年六月二十七日幹事岡倉覺三

代リテ學校長心得トナリ同年十月七日學校長ニ任セラレ

明治二十五年十一月十九日規則ヲ改正シ普通科ヲ豫備ノ課程ト改稱シテ其年限ヲ一
年トシ專修科ノ名ヲ廢シテ各本科ヲ四學年トシ美術工藝科ノ中ニ鑄金科ヲ新設シ又
特別ノ課程ヲ廢シテ繪畫科中ニ於テ圖畫教員志望者ニ課スヘキ課目(用器畫法及教
育學)ヲ設ケ又別ニ圖畫講習科ヲ置キテ普通教育ノ圖畫教員ニシテ尙其ノ技術又ハ
圖畫ニ關スル學科ヲ補修セムトスルモノ、入學ヲ許ス

明治二十七年五月ヨリ繪畫科彫刻科ノ教授方法ヲ分期教授ノ制トナシ本邦美術史上
時代ニ依リテ著キ三種ノ様式アルニ基キ其各期ノ様式ヲ本トシテ教授セリ同年八月
十日規則中學科課程ヲ改正シ同年十二月三日ニ至リテ復タ規則中入學規程第九條但
書ヲ改正ス

明治二十八年九月五日美術工藝科中ニ新ニ鍛金科ヲ増設ス

明治二十九年七月八日マタ規則ヲ改正シ豫備ノ課程ヲ甲乙ノ二種ニ分チテ之レニ課

スル實技ニ差異ヲ立テ其甲種ヲ繪畫科、圖按科、蒔繪科ニ入ルモノニ課シ乙種ヲ彫刻科、彫金科、鍛金科、鑄金科ニ入ルモノニ課シ繪畫科中ニ日本畫ト西洋畫トノ二部ヲ設ケマタ圖按科ヲ新設ス

明治三十一年三月二十九日女子高等師範學校長高嶺秀夫兼務ヲ以テ代リテ學校長タリ同年七月授業ノ方法ヲ改正シ日本畫科及彫刻科分期教授ノ制ヲ廢シテ日本畫科ノ實技ヲ臨摸、寫生、新按ノ三部トシ彫刻科ノ實技ヲ木彫及塑造ノ二部トシテ之レヲ修メシメ又西洋畫科ニ油畫教室及木炭畫教室ヲ新設シ豫備乙種ニ課スル彫塑ヲ專ラ塑造トシ其繪畫ヲ洋畫ノ素描トシ豫備甲種ノ繪畫ハ日本畫、圖按及漆工科ニ入ルヘキモノニ日本畫ヲ課シ西洋畫科ニ入ルヘキモノニ洋畫ヲ素描ヲ課スルコトトシ圖按科ニ水彩畫ヲ傍修セシメ彫金、鍛金、鑄金科ニ塑造ヲ併課ス同年十二月二十二日帝國博物館主事兼理事久保田鼎兼務ヲ以テ學校長心得トナル

明治三十二年九月彫刻科中ニ塑造科ヲ新設シ又木彫科ノ寫生ハ塑土ヲ以テ學修セシ

ム

明治三十三年一月十八日久保田鼎學校長ニ任セラル同年八月規則中圖畫講習科規程ヲ改正ス同年十二月規則中豫備ノ課程ニ課スル學科ノ一部ト入學規程中第九條但書並ニ入學試驗課目中改正ス

明治三十四年二月規則中圖畫講習科規程及授業料規程ヲ改正シ同年五月入學試驗料及同手數料ヲ改メ並ニ假入學生授業料ヲ定メ又彫刻科ノ學科課程ヲ改正シ同科中ノ分科ヲ廢ス同年八月九日文部視學官正木直彥代リテ學校長トナル

明治三十七年八月十二日ヨリ同年十一月十四日マテ正木學校長米國出張ニ付教授高村光雲校務ヲ代理ス

明治三十八年三月本校規則全部ヲ改正シ四月ヨリ七月ニ至ル間ノ假入學ノ制ヲ廢シテ豫備科ヲ置キ彫金鍛金ノ二科ヲ合シテ金工科トシ鑄金科ヲ鑄造科ト改メ而シテ豫備科及ヒ本科ヲ通シテ在學年限ヲ五ケ年間トシ最後ノ二學期間ハ專ラ卒業製作ニ從

事セシメ毎年三月ヲ以テ卒業ノ期トナセリ

明治三十九年五月舊帝國圖書館ノ煉瓦造三階建倉庫一棟木造二階建閱覽室一棟ヲ本校ニ借入ル、ノ約成リ同年七月本校文庫ヲ此ニ移ス同年九月ヨリ日本畫科ノ授業ヲ分チテ新館本館ノ二教室トシ各主任ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ此中何レカノ教室ニ就キテ學修セシムルコト、ナセリ

明治四十年六月五日文部省令第十八號ヲ以テ圖書師範科ヲ増設セラレ同省令第十九號ヲ以テ全科卒業者服務規程ヲ定メラレ全年七月本校規則ヲ改正シ圖書師範科ノ學科目及規程ヲ加ヘ講習科規程ヲ廢セリ同年七月ヨリ本校新築並ニ改築ノ事業ニ著手ス蓋シ本校校舍ハ明治十年ニ建築シタル元教育博物館ノ建物ヲ以テ充テタルカ爲設備ノ不完全ナルノミナラス逐年朽腐破損甚シキヲ加フルカ故ニ茲ニ始メテ四ヶ年ノ繼續事業トシテ此計畫ヲ見ルニ至レリ同年十一月彫刻科ノ學科課程ヲ改メ同科ヲ分チテ塑造、木彫、牙彫ノ三部トナセリ

明治四十一年三月舊帝國圖書館敷地三千七百坪並ニ煉瓦造三階建倉庫、木造二階建閱覽室及煉瓦造二階建倉庫ヲ本校所管ニ移サル全年九月日本畫科ハ從來二教室ニ分チテ授業シタリシカ更ニ其制ヲ改メ第一、第二、第三ノ三教室ニ分チテ各主任ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ此中何レカノ教室ニ就キテ學修セシムルコト、セリ

明治四十二年六月新築中ナリシ圖按科、金工科、鑄造科、漆工科ノ一棟及化學教室ノ一棟落成シ全年九月ヨリ各其新築校舍ニ於テ授業ヲ開始セリ

明治四十三年二月二日ヨリ全年十一月二十日マデ正木學校長英國出張ニ付教授高村光雲校務ヲ代理ス全年三月九日本校規則ノ一部ヲ改正シ全月十日文部省令第二號ヲ以テ圖書師範科卒業者服務規程ヲ改正セラル全年十一月一日文部省令第二十七號ヲ以テ全科規程學科目中「倫理」ヲ「修身」ト改メラル

明治四十四年一月二十五日、日本畫科、西洋畫科ノ一部、彫刻科、圖書師範科ノ各教室講義室等火災ニ罹リタルヲ以テ日本畫科、西洋畫科、彫刻科ハ當時新築中ナリ

シ校舍へ移シ圖書師範科ハ鑄造科ノ階上ニ於テ授業セリ

大正元年十二月十八日文部省令第五號ヲ以テ圖書師範科規程第四條中改正セラル之レ從來同科生徒ハ地方長官ヨリ薦舉シタルヲ當該學校長ヨリノ薦舉ニ改メラレタルナリ全月二十五日省令改正ニ基ツキテ本校規則中圖書師範科規程中改正ス

大正二年十月八日文部省告示第百六十七號ヲ以テ教員無試驗檢定指定學校中ニ圖書科教員トシテ本校日本畫科西洋畫科圖按科(在學中教員タル課程ヲ履修シ成績優等ノ者)ヲ加ヘラル蓋シ從來本校日本畫科西洋畫科圖按科中ニ設クル所ノ圖書教員タルヘキ特別ノ課程ハ明治四十年本校規則ノ改正ニ伴ヒ當時ノ現在生徒ニハ之ヲ課シタルモ既ニ悉ク卒業シ終リタルヲ以テ更ニ此告示ヲ見ルニ至リタリ

大正三年三月三十一日去ル明治四十年ヨリ四ケ年繼續事業トシテ著手セラレタル本校新築改築ノ工事ハ其後事業繰延等ノタメ年限ヲ延長セラレタルカ此日ヲ以テ全部竣成ヲ告ケタリ全年六月十九日勅令第百二十四號ヲ以テ文部省直轄學校ノ教育

ニ付功勞アルモノハ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトヲ得ル旨公布セラル全年九月五日文部省令第二十八號ヲ以テ本校各科(圖書師範科ヲ除ク)ノ規程ヲ定メラレタリ而シテ此省令ニ依リテ豫備科ハ各科ニ分屬セラレ圖案科ハ第一部(工藝圖案)第二部(建築裝飾)ニ分タレ又新タニ製版科ヲ設置セラレタリ全年九月十一日ヨリ此月五日發布セラレタル文部省令第二十五號及第二十七號ニ基ツキテ東京高等工業學校ノ工業圖案科、全校付設工業教員養成所ノ工業圖案科、全職工徒弟學校製版科生徒ノ教育ヲ本校ニ委託セラレ本校ニ於テ教授スルコト、ナレリ全年十二月廿八日本省令第二十八號ニ依リテ本校規則ヲ改正ス即チ豫備科ノ分屬圖案科ノ分設製版科ノ新設及ビ別科生ヲ置キタル等重モナル改正事項ナリトス

以上ヲ本校沿革ノ概要トナス

法令

○勅令第六十一號拔抄 (明治三十六年三月二十七日發布)

專門學校令

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者、文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

附則

第十六條 千葉醫學專門學校(中略)東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

○勅令第八十六號拔抄 (明治二十六年八月二十五日發布) (以後ノ改正年月日略ス)

文部省直轄諸學校官制

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

東京美術學校 (他校略之)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

教授

生徒監

助教授

書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 専任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

○勅令第九十九號拔抄 (明治三十五年三月二十八日發布) (以後ノ改正年月日略ス)
文部省直轄諸學校専任職員ノ定員左ノ如シ

東京美術學校

學校長

一人

教	授	二十七人	
助	教	授	二十人
書	記	六人	

○勅令第百三十四號拔抄 (明治四十三年三月二十六日發布)

高等官官等俸給令

第十條中

文部省直轄諸學校教授ニシテ五年以上高等官三等ニ在リ功績アルモノハ二十七人ヲ限り高等官二等ニ陞叙スルコトヲ得但シ各校二人ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 奏任文官ノ俸給ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別表第二表各號ノ一ニ依ル

第十三條 別表第二表(中畧)第五號ニ依ルモノハ高等官三等以下トス

第廿二條 別表第二表第五號ニ依ル諸官左ノ如シ

文部省直轄諸學校教授(他官畧之)

第廿三條 別表第二表(中畧)第五號ニ依ル職員ハ一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ功績アルモノニ限り五百圓以内ノ年功加俸ヲ給シ(下畧)

第五號ニ依ル諸官及奏任技術官ハ各廳事務ノ閑繁ニ依リ俸給最低額以下ヲ給スルコトヲ得

(第一表)

文武高等官官等表

文部省直轄諸學校長 東京盲學校長、市京 聾啞學校長ヲ除ク 二等乃至五等

(第二表第五號)

奏任文官年俸表

一級	三、〇〇〇	二級	二、七〇〇	三級	二、五〇〇	四級	二、二〇〇
五級	二、〇〇〇	六級	一、七〇〇	七級	一、五〇〇	八級	一、二〇〇

九級 一、一〇〇 十級 一、〇〇〇 十一級 八五〇 十二級 七五〇

(第五表)

文部省直轄諸學校校長 東京盲學校長、東京
聾啞學校長ヲ除ク

一級 三、七〇〇 二級 三、〇〇〇 三級 二、七〇〇 四級 二、五〇〇
五級 二、二〇〇

○勅令第百五十四號拔抄 (明治四十三年三月二十六日發布)

文部省直轄諸學校教官俸給ノ支給ニ關スル件

第一條 文部省直轄諸學校教官ノ俸給ハ其ノ授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ
最低額以下ヲ給スルコトヲ得

第二條 文部省直轄諸學校教官ニシテ一校又ハ數校ノ教官ヲ兼任スル者ニハ本官及
兼官ニ於ケル授業ノ時間又ハ學科ノ難易輕重ニ依リ其ノ俸給額ヲ分割シテ各學校

ヨリ給スルコトヲ得

第三條 文部省直轄諸學校ノ囑託講師ニハ教官俸給額ノ中ヨリ相當ノ手當ヲ給スル
コトヲ得

○文部省令第二十八號 (大正三年九月五日發布)

東京美術學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度、研究生及選科生ニ關スル規程
左ノ通定ム

東京美術學校規程

第一條 東京美術學校ノ學科ヲ分チテ日本畫科、西洋畫科、彫刻科、圖案科、金工
科、鑄造科、漆工科及製版科トス
製版科ヲ除キ各學科ニ豫備科ヲ置ク

第二條 東京美術學校ノ修業年限ハ豫備科ヲ通シテ五箇年トス但シ製版科ノ修業年

限ハ三箇年トス

第三條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ

(學科目及每週教授時數表略之)

學校長ハ臨時必要ト認ムル場合ニ於テハ前表ノ每週教授時數ヲ増減シ若ハ科外講義ヲ開クコトヲ得

第四條 卒業者ニシテ既修ノ學科ニ就キ更ニ研究セントスルモノハ研究生トシテ三箇年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇シテ學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

○文部省令第十八號

(明治四十年六月五日發布)(明治四十三年十一月一日省令第廿七號改正)
(大正元年十二月十八日省令第五號改正)

東京美術學校圖畫師範科ノ修業年限、學科目及其ノ程度並入學ニ關スル規程ヲ定ム

ルコト左ノ如シ

東京美術學校圖畫師範科規程

第一條 東京美術學校圖畫師範科ノ修業年限ハ三箇年トス

第二條 東京美術學校圖畫師範科ノ學科目ハ修身、教育學及教授法、美學及美術史、解剖學、圖案法、自在畫、幾何畫法、手工、習字、英語、教授練習及體操トス

第三條 前條各學科目ノ每週教授時數ハ左ノ如シ

(學科目及每週教授時數表略之)

學校長ハ臨時必要ト認メタル場合ニ於テハ前項各學科目ノ每週教授時數ヲ増減シ若ハ科外講義ヲ開クコトヲ得

第四條 東京美術學校圖畫師範科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ師範學校又ハ中學校ヲ卒業シタル者及專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ヲ受ケタル者ニシテ年齢二十四年以下身體健全品行方正ナル男子ニ就キ當該學校長之ヲ薦舉シ東京美術學校長其

ノ中ヨリ試験ノ上之ヲ定ム

必要ト認メタルトキハ東京美術學校長ハ前項學校長ノ薦舉ニ依ラスシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

第五條 生徒ニ缺員アルトキハ東京美術學校長ハ前條ノ資格ヲ有シ且當該學年ニ相當スル學力ヲ有スル者ニ就キ試験ノ上入學ヲ許可スルコトヲ得

○文部省令第二號 (明治四十年六月五日發布) (明治四十三年三月十日改正)

明治四十年文部省令第十九號東京美術學校圖畫師範科卒業生服務規程ヲ改正スルコト左ノ如シ

東京美術學校圖畫師範科卒業生服務規則

第一條 東京美術學校圖畫師範科卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ従事スル義務ヲ有ス

一 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ五箇年

二 學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ二箇年

第二條 東京美術學校圖畫師範科卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ從ヒ奉職スル義務ヲ有ス

一 學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ二箇年

二 學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ一箇年

第三條 東京美術學校圖畫師範科卒業生ニシテ特別ノ事情ニ依リ第一條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサル者ハ其ノ理由ヲ具シ東京美術學校長又ハ地方長官ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ出願シタル者アルトキハ東京美術學校長又ハ地方長官ハ事實ヲ審査シ意見ヲ具シテ願書ヲ進達スヘシ

第四條 東京美術學校圖畫師範科卒業生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アリタル

トキハ文部大臣ノ指揮ニ依リ學資ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ在學中ニ於ケル授業費及學資、學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

一 第一條ノ義務ヲ履行セサル者

二 服務年限中懲戒免職又ハ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

第五條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ服務年限中研究科等ニ入學セムトスル者アルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ

第六條 東京美術學校圖畫師範科卒業者ニシテ第三條ニ依リ其義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

本令施行以前ニ入學シタル者ノ服務年限ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

商議委員規程 (明治二十一年三月二十三日制定)

第一條 本校重要ノ事件ヲ商議スル爲商議委員ヲ置ク

第二條 商議委員ハ三名以上七名以下トシ學校長ノ推薦ニ依リテ文部大臣之ヲ命ス

第三條 商議委員會ノ會議ニ附スヘキモノハ學科課程重要ノ諸規則經費ノ豫算其他本校ノ利害ノ消長ニ關スル事項トス

但學校長ノ見込ニ依リ尙此他ノ事項ヲ會議ニ附スルコトヲ得

第四條 商議委員會ノ議案ハ學校長之ヲ提出スルモノトス

第五條 商議委員會ハ學校長ヲ以テ會長トシ委員半數以上出席スレハ議事ヲ結了ス

ルコトヲ得
 第六條 商議委員ハ五ケ年ヲ以テ任期トス任期滿ツルノ後時宜ニ依リ更ニ勤績ヲ命
 スルコトアルヘシ

東京美術學校規則 (大正三年十二月改正)

目次

第一章 總則	第七章 試驗規程
第二章 學科課程	第八章 圖畫師範科規程
第三章 學年學期及休業規程	第九章 研究生規程
第四章 入學在學及退學規程	第十章 選科生規程
第五章 特待生規程	第十一章 別科生及聽講生規程
第六章 休學規程	第十二章 授業料及其他ノ費用

第一章 總則

第一條 本校ノ學科ハ日本畫科、西洋畫科、彫刻科、圖案科、金工科、鑄造科、漆

工科、製版科及圖畫師範科トス

日本畫科、西洋畫科、彫刻科、圖案科、金工科、鑄造科、漆工科、製版科ヲ本科
 トシ各専門ノ技術家ヲ養成スルヲ主旨トス

圖畫師範科ハ師範學校、中學校、高等女學校ノ圖畫教員タルヘキモノヲ養成スル
 ヲ主旨トス

前項ノ外豫備科ヲ置ク

第二條 本校各科ノ修業年限ヲ定ムルコト左ノ如シ

製版科ヲ除ク外各本科ハ豫備科ヲ通シテ五箇年トシ入學ノ始ニ於テ一學期間豫備
 科ヲ履修セシメ最後ノ二學期間ハ專ラ卒業製作ニ從事セシム
 製版科、圖畫師範科ハ三箇年トス

第二章 學科課程

第三條 豫備科、本科及圖畫師範科ノ課目并ニ其程度左ノ如シ

日本畫科

課目	豫備科				計	體操
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年		
課目	一	一	一	一	四〇	二
修身	二四	三一	二九	三一	四〇	二
實習	二	二	二	二	四〇	二
解剖學					四〇	二
遠近法					四〇	二
圖案法					四〇	二
美學及美術史		東洋繪畫史二	東洋繪畫史二	美學	四〇	二
歷史及考古學	歷史		風俗史		四〇	二
外國語	二	二	二	二	四〇	二
用器畫法	八				四〇	二
木炭畫					四〇	二
鉛筆畫					四〇	二
水彩畫					四〇	二
教育學及教授法					四〇	二
畢業期	不定時	不定時	不定時	卒業製作不定時		

西洋畫科

課目	豫備科				計	體操
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年		
課目	一	一	一	一	四〇	二
修身	二四	三一	二九	三一	四〇	二
實習	二	二	二	二	四〇	二
解剖學					四〇	二
遠近法					四〇	二
美學及美術史		西洋繪畫史二	西洋彫刻史二	美學	四〇	二
歷史及考古學	歷史	西洋考古學二	風俗史		四〇	二
外國語	二	二	二	二	四〇	二
用器畫法	八				四〇	二
毛筆畫					四〇	二
畢業期	不定時	卒業製作不定時	卒業製作不定時	卒業製作不定時		

備考 表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス
外國語ハ英語佛語ノ中其一ヲ選擇セシム

課目	每 週	授 時				卒 業 期
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	
教育學及教授法					(三)	
體操		二	二	二	二	
計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	
備考 表中括弧内ノ時數ハ圖畫教員志望者ニ限リ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス 外國語ハ英語佛語ノ中其一ヲ選擇セシム						
彫刻科						
修身	一	一	一	一	一 不定時	
塑造實習	一六	二七	二七	二七	三三 三三 三三	
木彫及塑造實習		一八	一八	一八	二〇 二〇 二〇	
牙彫及塑造實習		一八	一八	一八	二〇 二〇 二〇	
繪畫實習	一六	四	四	四	一〇 一〇 一〇	
解剖學		二	二	二		
遠近法		二	二	二		
美學及美術史		二	二	二	二	
東洋彫刻史	二					
西洋彫刻史	二					
西洋建築史	二					
美學	二					

課目	部別	每 週	授 時	數
歷史及考古學	歷史	三		
外國語		二		
體操		二		
計		四〇		
備考 彫刻科ヲ分テテ塑造部木彫部牙彫部トシ其ノ一ヲ選擇シ同一ノ科目ヲ引續キ專修セシム 塑造部ニハ塑造、木彫部ニハ木彫及塑造、牙彫部ニハ牙彫及塑造ノミヲ課ス 外國語ハ英語佛語ノ中其一ヲ選擇セシム				

圖案科

課目	部別	每 週	授 時	數
歷史及考古學	歷史	三		
外國語		二		
體操		二		
計		四〇		
備考 彫刻科ヲ分テテ塑造部木彫部牙彫部トシ其ノ一ヲ選擇シ同一ノ科目ヲ引續キ專修セシム 塑造部ニハ塑造、木彫部ニハ木彫及塑造、牙彫部ニハ牙彫及塑造ノミヲ課ス 外國語ハ英語佛語ノ中其一ヲ選擇セシム				

東京美術學校規則 學科課程

備考 外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

鑄造科

課目	每 週	教 授 時 數			
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	一	一	一	一	一 不定時
實習		二二	一八	二〇	二〇 卒業製作不定時
塑造實習	一七	八			
蠟型實習					
繪畫及圖案	一八	四	八	八	
圖案法		四	四	四	
金工史及製作法		製作法 一製作法	一		金工史 一
工藝化學			金屬及合金 二實驗	三	
機械學大意					
外國語	二	二	二	二	二
體操	二	二	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

備考 外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

漆工科

課目	每 週	教 授 時 數			
		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	一	一	一	一	一 不定時
蒔繪實習	一七				
調漆實習		三〇	二六	二六	二七 卒業製作不定時
彫鏤實習					
繪畫及圖案	一八	四	四	四	三
圖案法		四	四	四	
漆工史及製作法		製作法 一製作法	一		漆工史 一
歷史及考古學			風俗史 一		
工藝化學		漆及塗料 二實驗	二		
外國語	二	二	二	二	二
計	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇

課目	修身	第一學年	第二學年	第三學年	計	圖畫師範科								
						體操	外國語	實習	美學	繪畫及圖案	製圖	圖案法	材料及藥品	製版術
教育學及教授法	二	一	二	二	四〇	二	二	一五	二	四	三	二	二	二
					四〇	二	二	一八	二	四	二	二	二	二
					四〇	二	二	三〇						二

製版科

課目	修身	第一學年	第二學年	第三學年	計	製版科									
						印刷術	寫真術大意	光化學	色彩學	化學實驗	化學	物理學	數學	外國語	體操
		二	二	二	四〇	二	二	一	三	二	一	二	二	二	二
		二	二	二	四〇	二	二	一	三	二	一	二	二	二	二
		二	二	二	四〇	二	二	一	三	二	一	二	二	二	二

備考 外國語ハ英語佛語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム

計	體操	教授練習	英語	習字	手工	幾何畫法	自在畫	圖案法	解剖學	美學及美術史
三九	二		二	二	四	三	一九	二	二	二
三九	二		二	二	四	三	一九	二		二
三九	二	一〇			二	二	一八			二

第四條 臨時必要ト認ムル場合ニ於テハ第三條ノ每週教授時數ヲ増減シ若クハ科外講義ヲ開クルコトアルヘシ

第三章 學年學期及休業規程

第五條 學年ハ九月十一日ニ始マリ七月十日ニ終ル

第六條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 九月十一日ヨリ十二月二十四日ニ至ル

第二學期 一月八日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第三學期 四月八日ヨリ七月十日ニ至ル

第七條 授業ハ九月十一日ヨリ十月三十一日マテ及四月八日ヨリ七月十日マテハ毎日午前八時ニ始マリ午後四時ニ終リ十一月一日ヨリ翌年三月三十一日マテハ午前八時三十分ニ始マリ午後四時ニ終ル

第八條 休業ハ冬季ハ十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル二週間、春季ハ四月一日ヨリ七日ニ至ル一週間、夏季ハ七月十一日ヨリ九月十日ニ至ル二箇月間トシ日曜日大祭日祝日及本校設置紀念日ハ休業ス

第四章 入學在學及退學規程

第九條 豫備科生徒入學ノ期ハ毎年四月ノ初トス

第十條 豫備科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齡滿十七年以上滿二十六年以下ノ男子ニシテ品行善良身體健全且左ノ資格ノ一ヲ具フル者トス

- 一 官公立中學校及徴兵令第十三條ニ依リ認定ヲ受ケタル私立中學校卒業者
- 二 專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ル者
- 四 徴兵令第十三條ニ依リ認定ヲ受ケタル工業學校卒業者
- 五 地方長官ノ許可ヲ得タル師範學校卒業者

第十一條 前條學校ニ在學中ノ生徒ニシテ三月末ニ卒業スヘキ見込アリト當該學校長ノ豫定證明スルモノニ限り卒業生ニ準スルコトヲ得

但本條ニ依リシモノ卒業シタルトキハ隨時本校ニテ定ムル期限内ニ卒業試験成績證明表ヲ提出スベシ若シ其手續ヲナサ、ルトキハ入學ノ資格ヲ失フモノトス

第十二條 入學志願者ニハ總テ試験ヲ施シ入學ヲ許否ス

第十三條 本科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ豫備科ヲ修了シタル者トス

第十四條 入學ヲ出願スル者ハ手数料トシテ金參圓ヲ本校收入官吏ニ納付スヘシ

但一旦納付シタル手数料ハ如何ナル事故アリト雖モ之ヲ返付セス

第十五條 入學ヲ出願スル者ハ入學願書(第一號書式)ニ左ノ書類ヲ添へ差出スヘシ

一 學業履歷書(第二號書式)

一 當該學校長ノ卒業試験成績證明表又ハ試験檢定合格證書

一 學校醫又ハ其資格ヲ有スル醫師ノ身體檢查書(第三號書式)

一 戶籍謄本

一 最近一年内ニ撮影セシ手札形寫眞(但半身脫帽ノモノタルベク裏面ニ氏名及撮影ノ年月日ヲ漢字ヲ以テ明記スベシ)

第十六條 第十條第五號ニ該當スルモノハ前條書類ノ外ニ地方長官ノ許可證ヲ添付

スルコトヲ要ス

第十七條 生徒其ノ氏名族籍ヲ變更シ又ハ其ノ居所ヲ轉シ若クハ改印シタルトキハ直ニ其旨ヲ届出ツヘシ

第十八條 生徒ハ入學後二週間以内ニ自費ヲ以テ本校制定ノ服帽ヲ調製著用スベシ

第十九條 生徒疾病其ノ他事故アリテ缺課スルトキハ其ノ理由及日限ヲ記シ當日又ハ翌日中ニ届出ツヘシ若シ病氣缺課七日以上ニ及フトキハ醫證ヲ添ヘ差出スヘシ

第二十條 生徒ニシテ引續キ一箇年以上缺席シタル者又ハ正當ノ理由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者ハ除名ス

第二十一條 生徒學業成達ノ目途ナキ者ハ除名ス

第二十二條 生徒怠惰不行狀又ハ本校ノ規則命令ニ背戾シ若クハ校ノ内外ヲ問ハス風紀ヲ紊ス等ノ行爲アルトキハ其ノ情狀ノ輕重ニ依リ譴責、停學、除名、放校ニ處ス

第二十三條 生徒一學年間學業ヲ精勵シタルモノニハ證狀又ハ賞品ヲ與ヘテ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第二十四條 生徒疾病其他ノ事故ニ依リ退學セントスルモノハ其ノ理由ヲ詳記シ疾病ニ由ル者ハ醫證ヲ添ヘ願出ツヘシ

第二十五條 生徒一旦退學セシ者再入學ヲ願出ツルトキハ退學當時ノ情狀ヲ調査シ學年ノ始メニ於テ原級以下ニ編入スルコトアルヘシ

第五章 特待生規程

第二十六條 學業品行殊ニ優等ナル生徒ヲ選ヒ之ヲ特待生トナシ一學年間ノ授業料ヲ免除ス

第二十七條 特待生ニシテ不都合ノ行爲アリタル時ハ直ニ特待生タルコトヲ止ム

第六章 休學規程

第二十八條 生徒正當ノ事故ニ由リ引續キ五箇月以上修學スルコト能ハサルトキハ

豫メ學校長ノ許可ヲ得テ其學年間休學スルコトヲ得

第二十九條 休學セントスル生徒ハ事故ニ由ル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ病氣ノ者ハ醫證ヲ添ヘ願出ツヘシ

第三十條 本規程ニヨリ休學スル生徒ヨリハ授業料ヲ徵收セス

第七章 試驗規程

第三十一條 評點ヲ分チテ學期評點及學年評點トス

學期評點ハ每學期ニ試驗ヲ行ヒテ之ヲ定メ學年評點ハ別ニ試驗ヲ行ハス三學期ノ評點ヲ平均シテ之ヲ定ム

第三十二條 實技ノ學期評點ハ受持教員ノ見込ヲ以テ別ニ試驗ヲ施サス平常ノ成績ニ依リテ之ヲ定ムルコトアルベシ

第三十三條 評點ハ各課百點ヲ以テ最高點トス

第三十四條 學年評點ハ各課ヲ實技及學課ニ大別シ各別ニ得點ヲ平均シ更ニ之ヲ合

計シテ二分シ六十點以上ヲ合格トス

但實技ノ成績一課目六十點ニ滿タヌ又ハ學課ノ成績一課目四十點ニ滿タサルハ共ニ不合格トス

第三十五條 不合格ノ爲原級ニ止マルトキハ六十點以上ヲ得タル學課ニ就キテハ其ノ資格ヲ留保スヘシ

第三十六條 豫備科生徒ノ學期末ノ試驗成績不合格ノ者ハ在學ノ資格ヲ失フモノトス

第三十七條 疾病其ノ他已ムヲ得サル事故アリテ試驗ニ缺席スル者ハ一週間以内ニ其ノ事由ヲ詳記シ追試驗ヲ願出ツルトキハ平常課業ノ成績優等ノ者ニ限り之ヲ許スコトアルヘシ

第三十八條 毎年一回各科各學年ヲ通シテ競技ヲナサシメ優等ノモノニハ褒賞ヲ與フルコトアルヘシ

第三十九條 卒業製作ヲ完成シ其ノ成績合格シタルトキハ卒業證書ヲ授與ス

第八章 圖畫師範科規程

第四十條 圖畫師範科ニ入學スルコトヲ得ルモノハ年齡滿二十四年以下ノ男子ニシテ品行方正身體健全且左ノ資格ノ一ヲ具フル者ヨリ當該學校長之ヲ薦舉シ其中ニ就キ試験ノ上選拔スルモノトス

一、道廳府縣師範學校卒業者

二、官公立私立中學校卒業者

三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ヲ受ケタル者

第四十一條 前條ノ外必要ト認ムルトキハ當該學校長ノ薦舉ニ依ラス資格アルモノヲ募集シ試験ノ上入學セシムルコトアルヘシ

第四十二條 入學志願者ノ選拔試験課目ハ隨時之ヲ定ム

第四十三條 在學中平時ニ在リテ兵役ニ服スヘキモノハ入學ヲ許サス

第四十四條 學校長ニ於テ生徒ヲ薦舉スルトキハ薦舉書(第五號書式)入學願書(第一號書式)履歷書(第二號書式)人物考定及學業成績表(第四號書式)身體檢查書

(第三號書式)戶籍謄本並ニ寫眞ヲ差出スヲ要ス

第四十五條 道廳府縣師範學校卒業者ハ前條書類ノ外ニ地方長官ノ許可書ヲ添付スヘシ

第四十六條 學校長ノ薦舉ニ依ラサル入學志願者ハ薦舉書、人物考定書ヲ除キ直ニ本校ニ願書ヲ差出スベシ

第四十七條 本校規則第十一條ニ依ルモノニシテ卒業シタルトキハ學校長ノ薦舉ニ係ルモノハ學校長ヨリ、本人ノ願出ニ係ルモノハ本人ヨリ速ニ其旨ヲ本校長ニ通知スルト共ニ學業成績表ヲ回送スヘシ

第四十八條 學校長ノ薦舉ニ係ルモノヨリハ入學手数料ヲ徵收セス

第四十九條 入學ヲ許可セラレタル生徒ハ直ニ保證人連署ノ誓書(第六號書式)ヲ差

出スヘシ

第五十條 保證人轉住其他身上ニ異動ヲ生シタルトキハ連署ノ上速ニ其旨ヲ届出ツヘシ

第五十一條 保證人死去シ又ハ海外ニ渡航シ若クハ其資格ヲ失フトキハ更ニ警書ヲ差出スヘシ

第五十二條 入學ヲ許可セラレタルモノ第一學期末ノ成績不頁ナルトキ又ハ在學中疾病ニ罹リテ修學シ能ハサルモノハ退學ヲ命ス

第五十三條 生徒ニシテ病氣又ハ事故ノ爲メ一箇月以上引續キ缺席シ又ハ缺席スヘシト認ムルモノハ休學ヲ命ズ

第五十四條 生徒ニハ學資トシテ一箇月金六圓ヲ支給ス

但シ私費生ト爲スコトアルヘシ

第五十五條 學資ハ入學ノ月ハ日割ヲ以テシ卒業ノ月ハ全額ヲ給ス

第五十六條 左ノ事項ニ該當スル場合ニハ學資ノ支給ヲ停止ス

一、私事ノ故障ニ依リ引續キ二週日以上缺課シタルトキハ二週日ヲ過キタル翌日ヨリ事故繼續中

二、疾病傷痍又ハ止ムヲ得スト認ムヘキ事故ニ依リ六十日以上缺課シタルトキハ六十日ヲ過キタル翌日ヨリ缺課中

三、停學中又ハ休學中

第五十七條 第五十二條ニ依リテ退學ヲ命シタルモノ、外在學中半途ニシテ退學スル者又ハ除名若クハ退學ヲ命セラレタルモノハ既ニ支給セラレタル學資及授業費ヲ償還スヘシ

但シ疾病傷痍又ハ酌量スヘキ事情アルトキハ償還スヘキ學資及授業費ノ一部又ハ全部ヲ免除スルコトアルヘシ

第五十八條 圖書師範科卒業生ニシテ研究生タラントスルモノアルトキハ時宜ニ依

リ二學年以内ヲ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十九條 第三章第四章第七章第九章第十二章ノ規程ニシテ本規程并ニ圖畫師範科生徒ニ關スル諸規程ト牴觸セサルモノハ圖畫師範科生徒ニ之ヲ準用ス

第九章 研究生規程

第六十條 卒業生ニシテ既修ノ實技又ハ學課ニ就キ更ニ研究セントスル者ハ本規程ニ依リ研究生タルコトヲ得

第六十一條 研究生ノ在學期限ハ三箇年以内トス

第六十二條 研究生ハ實習費トシテ一學年間金十五圓ヲ四月、九月、一月ノ三回ニ毎回金五圓宛ヲ本校收入官吏ニ納付スヘシ若シ滯納ノ場合ハ總テ本校生徒授業料滯納者ニ準シテ取扱フヘシ

第六十三條 研究生タラント欲スル者ハ其ノ研究セント欲スル事項ヲ具シテ願出ツベシ

第六十四條 入學ヲ許スヘキ研究生ノ年齢ハ滿二十八年以下トス

但學校長ニ於テ適當ト認ムルモノハ本條ニ拘ラス特ニ入學ヲ許スコトアルヘシ

第六十五條 實技研究生ノ入學ヲ分チテ無試験入學及競技入學ノ二種トス

第六十六條 本科、選科及圖畫師範科卒業生ニシテ卒業後直ニ實技研究生トシテ入學ヲ願出ツル者ハ卒業試験ニ於ケル實技ノ成績八十點以上ヲ得タル者ニ限り無試験入學ヲ許ス

但入學志願者同時ニ多數アルトキハ卒業試験ノ成績順ニ依リ入學人員ヲ定ム

第六十七條 卒業生ニシテ前條ニ該當セサル者入學ヲ願出ツルトキハ每學年ノ始ニ於テ入學競技ヲ行ヒ其ノ成績八十點以上ヲ得タル者ニ就キ詮衡ノ上入學ヲ許ス

第六十八條 實技研究生所定ノ人員ニ缺クルトキハ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第六十九條 實技研究生ニシテ入學競技ヲ受ケ二回マテノ間ニ於テ所定ノ點數ヲ得ル能ハスシテ入學ヲ許可セラレサル者ハ爾後入學競技ニ加ハルコトヲ得ス

第七十條 入學競技ニ要スル材料ハ總テ自辨トシ手数料ヲ徴收セズ

第七十一條 入學競技ノ外毎學期一回以上競技ヲ行フ

第七十二條 平常競技ノ成績一學年平均七十點ニ滿タサル者ハ研究生タルノ資格ヲ失フ其ノ成績七十點以上八十點未滿ナル者ハ次學年ニ於テ更ニ入學競技ヲナサシメ在否ヲ定ム

第七十三條 平常競技ノ成績一學年ノ平均八十點以上ノ者ハ次學年ニ於テ引續キ在學セシメ九十點以上ヲ得タル者ハ當該主任教授ノ推薦ニ依リ實習費ヲ免除シ且製作費ヲ給シテ特別製作ヲナサシメ又ハ旅費ヲ給シテ研究旅行ヲナサシムルコトアルヘシ

第七十四條 卒業生ニシテ美術ニ關スル學術ヲ研究セント欲シ研究生トシテ入學ヲ願出ツル者アルトキハ當該主任及關係教員ノ會議ニ付シ本校ノ見込ニ依リ許否ヲ定ムルモノトス

第七十五條 研究生ニシテ所定ノ研究ヲ終リタル者ニハ證議ノ上其證狀ヲ付與ス

第七十六條 研究生ニシテ一箇月以上無届ニテ缺席シタル者ハ除名ス

第七十七條 何等ノ事故ニ拘ラズ三箇月以上缺席スル者ハ研究生タルノ資格ヲ失フ

第七十八條 本規程ニ依リ除名セラレタル者及本校規則第二十二條ニ依リ除名セラレ又ハ退學ヲ命セラレタル者ハ再ヒ入學スルコトヲ許サス

第七十九條 研究生ハ此ニ規定スルモノ、外ハ本科生ト同シク本校諸規程ヲ遵守スヘキモノトス

第十章 選科生規程

第八十條 各本科ノ課目中一課若クハ數課ノ實技ヲ選擇シテ學修セントスル者ハ各級本科生ニ缺員アル場合ニ限り左ノ各號ニ該當スル者ハ選科生トシテ入學ヲ許ス

一、年齡滿十七年以上滿二十六年以下ノ男子ニシテ品行善良身體健全ナル者

一、所選實技ノ試験ヲ受ケ合格シタル者

一、高等小學校卒業者又ハ中學校二年修了以上ノ者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者

第八十一條 前條第三號末段ノ學力ハ本校ニ於テ左ノ學課ニ就キ試験ヲ施シテ之ヲ定ム

(一)讀 書 假名交リ文

(二)作文及書取 簡易ナル假名交リ文

(三)算 術 加減乗除

(四)歷 史 日本歴史ノ大要

第八十二條 選科生ノ修業年限ハ五箇年トス

第八十三條 繪畫彫刻ノ選科生ハ實技ノ外解剖學遠近法ヲ學修スルコトヲ要ス

第八十四條 選科生ハ所選ノ課目ニ就キ本科生ト同シク試験ヲ受ケ合格ノ者ニハ證書ヲ授與ス

第八十五條 選科生ハ此ニ規定スルモノ、外ハ本科生ト同シク本校諸規程ヲ遵守スヘキモノトス

第十一章 別科生及聽講生規程

第八十六條 生徒以外ノ者ニシテ本校ニ於テ教授スル學課目中一課若クハ數課ヲ選ヒ學修セントスル者ハ相當ノ學業履歴アル者ニ限り特ニ別科生又ハ聽講生トシテ出席ヲ許スコトアルヘシ

別科生ハ主トシテ所選ノ實技ヲ學修シ聽講生ハ單ニ學科ヲ聽講スルモノトス

第八十七條 本校ハ每學年開始前ニ出席ヲ許スヘキ學科目ヲ公示スヘシ

第八十八條 別科生ハ實習費トシテ一學年間金參拾圓ヲ四月、九月、一月ノ三回ニ毎回金拾圓宛ヲ本校收入官吏ニ納付スヘシ

聽講生ハ一學年間ノ聽講料トシテ一科目ハ金五圓一科目ヲ増ス毎ニ金參圓ヲ本校收入官吏ニ前納スヘシ

但一旦納付シタル實習費又ハ聽講料ハ如何ナル事故アルモ返附セス

第八十九條 別科生ニシテ實習費滯納ノ場合ハ總テ本校生徒授業料滯納者ニ準シテ取扱フヘシ

第九十條 聽講生ハ本人ノ希望ニ依リ本科生ト同シク試験ヲ受クルコトヲ得前項ノ場合ニハ合格者ニハ證書ヲ授與ス

第九十一條 別科生及聽講生ハ本校所定ノ制服ヲ着用スルコトヲ要セス

第九十二條 別科生及聽講生ハ此ニ規定スルモノ、外ハ本科生ト同シク本校諸規程ヲ遵守スヘキモノトス

第十二章 授業料及其他ノ費用

第九十三條 授業料ハ一學年間金二十五圓ト定ム

但外國人ノ授業料ハ一學年間金四十五圓トス

研究生、圖畫師範科生徒及實業學校教員養成規程ニ依レル學資補給生ヨリハ授業

料ヲ徴收セズ

第九十四條 授業料ハ毎年九月ハ金十圓ヲ一月、四月ハ金七圓五十錢ツ、各當月十五日ヨリ三日間ニ本校收入官吏ニ納付スヘシ

但外國人ノ授業料ハ九月、一月、四月ノ三回ニ毎回金十五圓宛ヲ本校收入官吏ニ納付スベシ

授業料ハ一學年分ヲ一時ニ納付スルモ妨ケナシ

授業料ハ一旦納付シタル後ハ如何ナル事由アルモ返付セス

第九十五條 授業料ハ疾病其ノ他自己ノ都合ニ依リ缺席シ又ハ停學ニ處セラレ、コトアルモ本校ニ學籍ヲ有スル間ハ之ヲ徴收ス

第九十六條 特待生ニシテ第二十七條ノ處分ヲ受ケタルトキ又ハ休學中ノ生徒若クハ再入學等ノタメ半途ヨリ就學スルトキハ一箇月金二圓五十錢ノ割ヲ以テ其月ヨリ授業料ヲ徴收ス

外國人ニシテ前項ニ該當スルモノハ一箇月金四圓五十錢ノ割ヲ以テ其月ヨリ授業料ヲ徵收ス

第九十七條 授業料ヲ納付期日ニ納メサル者ハ未納中停學ヲ命ス其ノ未納三週日ヲ超ユルトキハ除名ス

第九十八條 教科用ノ圖書、實習用小道具、繪具、紙、筆及諸材料ハ總テ生徒ノ自辨トス

但實技上重要ノ器品等ハ本校ヨリ之ヲ貸付ス

第九十九條 本校ヨリ材料ヲ給シテ製作セシメタルトキハ其ノ生産品ハ本校ノ所有ニ歸スルモノトス

○第一號書式(用紙美濃紙ニツ折姓名ニハ假名ヲ附スベシ)

入學願書

私儀御校何科ニ入學仕度履歷書其他御規定ノ書類及手数料相添此段相願候也

年 月 日

住 所

本籍族(戸主ニ非ザレバ戸主トノ關係)

姓 名

何年何月何日生

○第二號書式(用紙美濃紙ニツ折)

東京美術學校長某殿

履 歷 書

住 所

本籍族(戸主ニ非サレハ戸主トノ關係)

姓 名

何年何月何日生

一學 業

一何年何月何々小學校卒業

一何年何月ヨリ何地何某ニ就キ何學修業

一何年何月ヨリ何立何々學校ニ入學ス

一何年何月何立何々學校卒業ス

一卒業證書等

一何年何月何立何學校ニ於テ何科卒業證書ヲ受ク其寫別紙ノ如シ

東京美術學校規則 諸書式

一何年何月何地何處ニ於テ何々免許狀ヲ受ク其寫別紙ノ如シ

一兵 役
一何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何師團何旅團何兵何聯隊ニ入ル等（兵役ヲ免セラレタルモノハ其事由ヲ記スヘシ）

一職務、職業
一何年何月何地ニ於テ何職ヲ奉ス（俸給等記載スヘシ）

一何年何月依願免官或ハ目下勤續中等

一何年何月ヨリ何地ニ於テ何業ニ従事ス（其後ノ事モ記載スヘシ）

一賞 罰
一何年何月何日何處ニ於テ何事ニ付何賞ヲ受ク或ハ何罰ヲ受ケタル等
右之通相違無之候也

年 月 日

○第三號書式（身體検査ハ文部省所定ノ方法ニ依リ度ハ尺、衡ハ貫ヲ單位トシ四捨五入ノ法ヲ以テ度ハ分、衡ハ匁ニ止ム）

身體検査書

住所

本籍族（戸主ニ非サレハ戸主トノ關係）

姓

何年何月何日生

右

名 印

名

一體 格
一體 重
一視 力（左右遠近視ノ度）
一聽 力（色盲眼疾ノ有無）
一齒 牙（上顎齒數、下顎齒數）
一言 語
一身體異常ノ有無
右検査致候處相違無之候也

一身 長
一胸 圍（常時、空虛、盈虛ノ差）
一脊 柱
一耳 疾
一呼吸器
一疾病（既往及現在）
一神經系

年 月 日

○第四號書式（用紙美濃紙ニツ折）

人物考定學業成績表

住所

何學校醫

學位（又ハ資格）

姓

名 印

住所

本籍族（戸主ニ非サレハ戸主トノ關係）

姓

何年何月何日生

名

一資 性
一志 操

一舉 行
一舉 動

一長所短所
學業成績表

試驗施行年月日	學年	別	國語	漢文	何々	何々	何々	何々	合計	平均	受驗人員	席次	及落	備	考
年月日	第一學年														
年月日	第二學年														
年月日	第三學年														
年月日	第四學年														
年月日	第五學年														

右本校在學中ノ人物考定及卒業成績(又ハ在學中ノ成績前書ノ通ニ有之候也)

備考 在學中ノモノヲ薦舉スル場合ニ在テハ最終學年欄ニ最近學期ノ成績ヲ記入シ學年成績ニ代フヘシ

直接本校ニ願書ヲ差出スモノニ在リテハ人物考定書ハ要セサルモ成績表ハ之ニ做フモノトス

○第五號書式(用紙美濃紙ニツ折)

薦舉書

何年何月何々學校卒業(又ハ卒業スヘキ者)

何府縣族

姓

名

生年月 何年何月何日生

年 何年何ケ月

右者將來圖畫教員タルノ志望ヲ有スルモノニシテ前記ノ學校ヲ卒業シ(又ハ卒業スヘキモノ)學力優等品行方正ナル者ニ有之候間御校圖畫師範科ヘ入學御許可相成度別紙書類相添ヘ薦舉致候也

年 月 日

何々學校長 姓

名 印

東京美術學校校長某殿

○第六號書式(用紙美濃紙ニツ折)

三錢收入
印紙貼用

誓書

私儀今般御校圖畫師範科生徒トシテ入學御許可相成候ニ就テハ在學中御校則ヲ遵守シ專心勉勵スヘキハ勿論卒業後ニ在リテハ卒業後服務規則ヲ服膺シ誓テ熱心教育ニ盡スヘク候仍リテ誓書如斯ニ候也

住所

本籍族(戸主ニ非サレハ戸主トノ關係)

姓

名 印

何年何月何日生

前書之通相違無之候ニ付テハ御校諸規則承知ノ上保證人ニ相立テ向後本人身上ヨリ相起リ候事件ニ關シテ

東京美術學校規則 諸書式

ハ一切引受ケ處理可致候也
猶向後轉住改印其他身上ニ異動ヲ生シタルトキハ速ニ御届可申候也

住所
本籍族
業務
本人トノ關係
保證人 姓
名印
何年何月何日生

東京美術學校長某殿

前書保證人何某ハ肩書ノ所ニ住シ公民權ヲ有スル者ニ相違無之候也

年 月 日 何市町村長 姓

名印

備考 保證人ハ必ス公民權ヲ有スルモノタルベク又可成近親ノモノヲ選ヒ本校ノ認可ヲ受
クヘシ

保證人ノ 名ニハ假名ヲ附スヘシ

保證人ハ其姓名ヲ自書シ實印ヲ捺スヘシ

各科授業要旨

各科授業ノ要旨ハ茲ニ之ヲ述フルト雖素ヨリ其大要ヲ記スルニ過キス假令之ヲ細説
スルモ實況ヲ見ルニアラスンハ隔靴搔痒ノ感アルヲ免レサルナリ故ニ詳細ヲ知ラン
トスルモノハ各科教室ニ於ケル授業ノ實況ヲ視察シ又生徒ノ成績ニ考慮シ之ヲ會得
スルノ外ナキナリ而シテ茲ニ一言シ置クヘキハ本校生徒教養ノ効果ナリ蓋シ藝術ハ
修身ノ業ニシテ僅々數年ノ修養ヲ以テ能ク其効果ヲ收メントスルノ爲シ易カラサル
事ハ何人モ知ル所タリ殊ニ名家鉅匠トシテ聲譽ヲ後昆ニ傳フルカ如キハ自ラ天稟ノ
才能ト拔群ノ技倆トヲ有スルモノニ非サルヨリハ得テ望ムヘカラサル事ニ屬ス然レ
トモ人各所長ノ在ルアリ好尚ノ存スルアリ故ニ本校教授ノ要旨ハ成ルヘク其人ノ長
スル所ニ副ヒテ之ヲ發展進歩セシムルニ務ムト雖之ヲ約言スレハ本校ハ僅ニ五ケ年
ヲ以テ卒業スル規定ナルヲ以テ茲ニ卒業ト稱スルハ唯技術上ノ端緒ト之ニ適切ナル
學科トヲ修得シタルニ過キス技術ノ大成ノ如キハ各自カ本校ニ在リテ修得シタル素
養ニ依リ尙精進不退轉ノ修練ニ竣ツノ外ナキナリ

豫備科

豫備科ハ本科ニ入ルノ豫備ニシテ製版科、圖畫師範科ノ外各科ニ之ヲ置キ必要ナル實技及學科ヲ課シ凡ソ三ヶ月間學修セシメタル終リニ於テ試験ヲ施シ本科入學ノ許否ヲ決定ス故ニ此ノ科ニ於ケル實技及ヒ學科ハ中學校トノ連絡ヲ圖リテ教授スレトモ唯歴史ハ東洋美術史ノ大略ヲ講授セリ

日本畫科

日本畫科ハ第一年ヨリ第三年マテハ各年級ニ擔任ヲ定メテ教授スレトモ第四年ヨリハ更ニ全級ヲ分チテ第一、第二、第三ノ三教室トシ各室ニ主任教授ヲ置キ生徒ノ志望ニ依リテ何レカノ教室ニ入りテ毛筆畫ヲ學ハシム其授業ヲ分チテ模寫、臨畫、寫生、新按、圖按ノ五トナシ別ニ郊外寫生ヲナサシム特ニ課スル學科ヲ解剖學、遠近法、圖按法トス

模寫及臨畫ハ本校教授ノ畫キタルモノ及古來名家ノ筆蹟ニ係ル簡易ナルモノヨリ漸

次複雑ナルモノニ移リ主トシテ其着想並ニ運筆ノ法ヲ修得セシム第一年ヨリ第四年マテ之ヲ課ス

寫生ハ初メ草木花實ヲ以テシ次テ蟲魚禽獸ヲ教室ニ致シ或ハ動物園ニ就キテ之ヲ寫サシム其技ノ漸ク熟スルニ及ヒ生人ノもてるニ及ホシ本邦古來ノ甲冑ヲ著セシメ或ハ裝束ヲ爲サシメ若クハ當世ノ服裝ヲ寫サシメ以テ有職故實ノ實修ト傳彩配色ノ手法ト物象ヲ正確ニ描寫スル法トヲ教フ是亦第一年ヨリ第四年マテ之ヲ課ス

新按ハ既ニ學修シタル模寫臨畫及寫生ノ力ヲ應用シ課題ニ依リテ各自ノ意匠ヲ須キ新作セシムルモノニシテ第一年ヨリ第四年マテ之ヲ課シ卒業期ニ於テハ新按ヲ以テ專ラ卒業製作ヲナサシム

圖按ハ草木花實ノ簡易ナルモノヨリ漸次複雑ナルモノニ及ホシ繪畫ノ力ヲ應用シテ模様器物ノ圖按ヲ作ラシム第一年ヨリ第四年マテ之ヲ課ス

郊外寫生ハ教員ニ於テ其日ト場所トヲ選ヒテ生徒ヲ引率シ又ハ生徒ヲシテ隨所ニ其

風景ヲ寫生セシメ成績ヲ徵ス

西洋畫科

西洋畫科ハ主トシテ木炭畫、油畫ヲ教授シ又鉛筆畫、水彩畫ヲ併セ授ク特ニ課スル學科ヲ解剖學、遠近法トス

第一年ニ於テハ專ラ石膏像ニ據リテ木炭畫ヲ習得セシメ兼テ油繪ノ靜物畫風景畫等ヲ授ク又隨時題ヲ課シテ構圖ヲナサシム但シ此學年ニ限リ木炭、水彩、鉛筆ヲ以テ構圖ヲナサシム

第二年ニ於テハ生人ノもてるニ依リ木炭ヲ以テ人體ヲ寫生セシメ第三年第四年ニ於テハ油繪具ヲ以テ寫生セシム油繪ノ靜物畫風景畫及構圖等ハ學年ノ進ムニ隨ヒ順次其程度ヲ高メテ之ヲ課ス

卒業期ニ入りテハ第一學期ニ於テ卒業製作ノ構圖ヲナサシメ第二學期ニ於テ其既成ノ構圖ニ據リテ製作ニ從事セシメ併セテ自畫像ヲ描寫セシム

風景畫ハ期日ヲ限定シテ郊外寫生ヲナサシメ構圖ハ主トシテ歴史及風俗ヲ課ス各學年ノ課目ニ對シ一學期末毎ニ一回ノ競技ヲ施行シ技能ノ優劣ヲ判定ス

彫刻科

彫刻科ヲ分チテ塑造部、木彫部、牙彫部ノ三トシ生徒ノ志望ニ依リテ此部ノ一ヲ選擇學修セシム特ニ課スル學科ヲ解剖學遠近法トス而シテ此科ニハ石膏標本室及同製作室ヲ付設ス

塑造部ニテハ第一年ヨリ卒業期ニ至ル迄皆塑土ヲ以テ物形ヲ作ラシメ彫刻ノ術ヲ學修セシム其初メハ石膏製薄肉ノ裝飾物及動植物ノ手本ヲ與ヘテ之ヲ模セシメ技倆漸ク進ムニ從テ動物人首等ニ移ラシメ第二年以上ハ禽獸ヲ教室ニ致シ又ハ動物園ニ就テ寫生セシメ漸次生人ノもてるニ依リテ諸種ノ態度服裝ヲナサシメ其形ヲ寫サシム又別設ノ石膏室ニ於テハ石膏型ヲ造ルノ方法ヲ教フルト共ニ自ラ塑土ノ作品ヲ石膏型ニ移サシム卒業期ニ至リテ專ラ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ

木彫部、牙彫部ノ教授順序モ亦略、塑造部ノ如クニシテ第一年ヨリ第四年マテ各自ノ志望ニヨリテ此部ノ一ヲ選ヒ當該教室ニ在リテ古作品又ハ教師ノ作品ヲ模セシメ或ハ自己ノ意匠ヲ以テ作ラシメ又其實習時間ヲ割キテ塑土ヲ以テ物形ヲ作ルコトヲ學ハシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ
繪畫ハ彫刻ニ必要ナル繪畫ヲ修メシムルモノニシテ外ニ設クル教室ニ於テ塑造部ニハ木炭畫ヲ木彫部牙彫部ニハ毛筆畫ヲ課ス

圖 案 科

圖案科ハ分チテ第一部(工藝圖案) 第二部(建築裝飾) トシ生徒ノ志望ニ依リテ其部ノ一ヲ學修セシム
第一部ニテハ各種ノ工藝圖案ヲ專修セシム而シテ此部ノ實習ヲ分チテ圖案實習、繪畫、各種工藝製作及ヒ彫塑トシ又特ニ各學年ニ配當シテ圖案法、各種工藝製作法、用器畫法、色彩學等ノ學科ヲ課ス

圖案實習ハ第一學年ヨリ第四學年マテノ間ニ於テ動植物等ノ實物ヲ寫生變化シ又内外新古各時代ニ於ケル工藝圖案及ヒ裝飾模様圖案ヲ學ハシメ而シテ後之レヲ應用シ自己ノ意匠ヲ以テ新ニ圖案ヲ作ラシム卒業期ニ至リ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ

繪畫ハ各種ノ形體ヲ描寫スル力ヲ養ヒ並ニ傅彩配色ノ法ヲ習得セシムルモノニシテ毛筆畫、木炭畫、水彩畫トシ東西古今ノ名家ノ作ニ成レル繪畫及ヒ彫刻ヲ模寫シ若クハ臨寫セシメ並ニ草木、花卉、禽獸、虫魚、器物、人物、風景等ニ就キテ寫生セシメ且ツ新案ヲ以テ描カシム

各種工藝製作法ハ漆工、金工、鑄金、陶磁器、染織、印刷等ノ實習ヲナサシム
彫塑ハ塑土ヲ以テ圖案ニ關スル内外新古ノ作品ニ就キ裝飾及器物ノ模型ヲ寫サシム
第二部ニテハ建築及建築裝飾ニ關スル圖案ト理論トヲ專修セシム特ニ課スル學科ハ東西建築史、建築學、理學、圖案法、用器畫法トシ實習ハ製圖、繪畫、彫塑ヲ修メ

シムルノ外屢、建築工場及實物製作ニ就キテ見學シ又實測ヲナサシメ時々新按ヲ以テ製作ニ從事セシム

新按ハ既ニ學修シタル學理ト製圖力トニ依リ各學年ヲ通シ各自ノ意匠ヲ須キテ新作セシムルモノナレトモ特ニ豫備科ニ於テハ數理的智識ノ修養ト建築學一般ノ概要ヲ學ハシメ卒業期ニ在リテハ前半期ハ高等ノ學理ト既ニ習得シタル諸學科ノ活用法ヲ練習セシメ後半期ニ於テハ實際ノ要件ヲ基礎トセル建築及建築裝飾圖案ヲ製作シ併セテ是等ニ關スル特種ノ卒業論文ヲ提出セシム而シテ學科ノ内容ヲ示セハ左ノ如シ建築史ハ之ヲ東西ニ別チ東洋建築史ハ主トシテ日本建築史ヲ教ヘ朝鮮、支那及印度ニ於ケル建築沿革ノ大要ニ及ホシ西洋建築史ハ歐米ニ於ケル古代ヨリ現今ニ至ル建築様式ノ變遷ト特徴ノ概要ヲ講授ス

建築學ハコレヲ數課目ニ分ツ即チ一般建築構造、鐵骨鐵筋構造、建築材料、工事施工法ニ於テハ建築ノ骨骼、構造及コレカ施工ノ大要ト現場ニ臨メル心得等ヲ教ヘ特

別建築意匠、建築裝飾、家具史、家具製作法ニテハ建築及家具ノ意匠製作ニ關スル理論ト要件トヲ修メシメ色彩學ニテハ色彩ニ關スル學理ヲ建築科學ニテハ衛生、地震、音響、光線等ニ關スル高等ノ學理ヲ授ケ尙ホ卒業期ニ於テ築庭又ハ建築ニ關係アル特別ノ講義ヲ課ス

理學ノ中、數學、力學ハ建築理論ニ關係アル各學科ノ理解力ト數理的智識ノ涵養ヲ目的トシ地質、測量ハ建築施工上ノ素要ヲ養フニアリ

用器畫法ハ投影陰影ニ始マリ圖法幾何及遠近法ニ至ル理論ト圖法トヲ教ヘ圖案寫生等ニ於ケル正確ナル力ヲ養フニアリ

圖案法ハ建築及裝飾ニ伴フ各種ノ工藝圖案ニ就キテ講授ス

繪畫ハ木炭畫ニ始マリ鉛筆畫、ペン畫、水彩畫ニ及ホシ建築及各種ノ形體ヲ正確ニ摸寫スル力ト傳彩配色ノ法ヲ習得セシメ以テ製圖及圖案ノ力ヲ補ヒ又特ニ四年級ニ於テ毛筆畫ヲ課シ各種ノ圖案製作ニ便ナラシム

彫塑ハ塑土ヲ以テ建築裝飾ノ模寫ヲナシ或ハ圖面圖案等ニ基ツキコレヲ實物ニ製作セシメ且ツ建築現場ニ於ケル彫刻裝飾應用ノ力ヲ修養セシム又本邦木彫ノ名稱特徴ハ別ニ標本模型ニ據リテ之ヲ學ハシム

金 工 科

金工科ニテハ彫金、鍛金ヲ學修セシム即チ彫金ハ鑿ヲ用キテ諸金屬ニ彫刻シ鍛金ハ諸金屬ヲ鎚打シテ各種ノ物形ヲ作ルノ術ヲ教フ鞆場ヲ付設シ又傍ラ鑿造ヲ學ハシム特ニ課スル學科ハ圖案法、製作法、金工史、工藝化學ナリ

彫金ヲ教フルニハ最初ハ鑿ノ用法ヨリス即チ第一年ニアリテハ手本ヲ與ヘテ直線曲線ノ彫刻法ヨリ次テ之ヲ應用シ各自ノ考按ヲ以テ文様等ヲ刻セシメ技術漸ク進ムニ從ヒ片切ノ彫法、鏤金ノ手法、全彫ノ作法等ヲ教ヘ時ニ題ヲ與ヘテ模刻ノ外新按ヲ作サシム

鍛金實習ハ其初メ銅鐵ヲ鎚打シテ簡單ナル器物ヲ作ルノ法ヲ教ヘ其技漸ク進ムニ從

ヒテ水滴花瓶香爐ノ類ヨリ禽獸蟲魚ヲ作ルコトヲ學習セシム

卒業期ニ至リ以上ノ技術ヲ以テ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ

塑造ハ塑土ヲ以テ禽獸蟲魚人物等ノ原型ヲ作ルノ法ヲ學修セシムルモノニシテ別ニ設クル所ノ教室ニ於テ之ヲ課ス

繪畫及圖按ハ繪畫ノ力ヲ養ヒ並ニ金工ニ必要ナル圖按ヲ學修セシムルモノニシテ別ニ設クル教室ニ於テ之ヲ課ス

鑄 造 科

鑄造科ニハ鑄液及蠟型教室、傳色教室、鑄造工場アリテ鑄造ノ術ヲ教ヘ別ニ塑造ヲ學ハシメ又特ニ圖案法、金工史、製作法、工藝化學、機械學大意ヲ課ス

鑄造實習トハ塑土又ハ蠟型ニテ作りタル器物室内裝飾品彫像等ノ鑄造原型ヲ作ル方法ヨリ之ヲ鑄成シテ傳色スル術ヲ教フルナリ初メハ手本ニ因リテ簡單ナル薄肉半肉ノ手板又ハ額面ヨリ漸次其技ノ熟スルニ從ヒ各自ノ新按セル筆筒香爐花瓶ノ類ヲ造

ラシメ又寫生シタル鳥獸人物等ヲ鑄成セシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ

蠟型ハ蠟ヲ以テ鑄造ノ原型ヲ作ルコトヲ教ヘ塑造ハ金工科ト同シク別設ノ教室ニ於テ原型ヲ作ルコトヲ學ハシム

今茲ニ鑄造ノ順序ヲ略說スレハ手本ニ由リ又ハ寫生新按ヲ以テ蠟若クハ塑土ニテ物形ヲ作ルヤ之ヲ鑄造工場ニ致シテ牝型及中子ヲ作り次キニ熔銅ヲ注入シ然ル後其鑄型ヲ毀チ鑄成シタルモノハ鑄造教室ニ於テ仕上ケヲ爲シ了レハ則チ傳色教室ニ入りテ適宜ニ傳色ヲ爲シ是ニ於テ初メテ成品ヲ見ルヲ得ルナリ

繪畫及圖按ヲ課スルハ金工科ニ同シ

漆 工 科

漆工科ニハ蒔繪教室ト調漆教室トアリテ主トシテ描金ノ術ヲ教ヘ并ニ漆器ノ塗り方ヲ學修セシム特ニ課スル學科ハ圖案法、製作法、漆工史、工藝化學ナリ

蒔繪實習ハ平蒔繪研出シヨリ高蒔繪、素地蒔繪等簡易ナルモノヨリ次第ヲ追ヒテ教フルモノニシテ初メハ手板ニテ習ハシメ漸次其技ノ熟スルニ從ヒ盆菓子器其他ノ器物ニ就キテ學習セシム又此時間中ニ於テ題ニ依リ或ハ實物ニ就キテ作品ノ價格ヲ見積ル練習ヲナサシム卒業期ニ至リテ卒業製作ヲナサシムルコト他科ニ同シ

調漆實習ハ蠟色其他種々ノ色調ヲ以テスル髹漆ノ方法及變リ塗り等ヲ教フルモノニシテ蒔繪實習時間ヲ割キテ之ヲ學ハシム

製 版 科

本科ハ製版及印刷ニ關スル學理ト實地トヲ教授ス

由來斯術ハ科學ノ應用ヲ基礎トセルカ故ニ其完全ヲ期センニハ單ニ製版印刷術ノ技巧ニノミ重キヲ置ク能ハス生徒ヲシテ諸印刷版製作ノ方法ハ勿論深ク該印刷版生成

ノ原理ヲ理解セシメ尙ホ之ニ要スル諸器械及諸材料ニ對スル知識ヲ必要トスルヲ以テ學科トシテ課ス可キモノ頗ル多シ又實地ニアリテハ古來行ハレシ製版印刷ノ法式ハ其數頗ル多ク生徒ヲシテ悉ク之ヲ學習セシムルハ殆ト不可能ナルヲ以テ本科ノ實技教授方針ハ初學年ヨリ第三年第一學期ニ至ルノ期間ニ於テ先ツ現今廣ク世上ニ行ハル、諸版式ヲ實習セシメ爾餘ノ二學期間ヲ以テ各自希望スル一種ノ版式ヲ習熟專修セシムルニアリ

先ツ第一年ニアリテハ各科ニ課スル共通學科ノ外、數學、物理學、化學、色彩學、圖按法、寫眞術大意及製版術等ノ諸講義ヲ課シ更ニ製版實習ノ外化學實驗、繪畫實習、寫眞實習及製圖實習ヲナサシメ本科ノ専門タル製版實習トシテハ各種平版法、例ヘハ直畫石版法、轉寫石版法、寫眞版法及其他ノ金屬平版法ヲ實習セシム

第二年ニアリテハ光化學、化學、材料及藥品學、製版術、印刷術等ノ諸講義ヲ課シ實習トシテハ寫眞ヲ應用セル製版法即コロタイプ法、亞鉛凸版法、網目版法、三

色版法、電胎版法等ヲ實習セシム

第三年ニアリテハ光化學、製版術等ノ諸講義ヲ課シ實習ハ第一學期中ハ凹版術例ヘバ寫眞凹版、寫眞電氣凹版等ヲ實習セシメ爾餘ノ第二第三ノ兩學期ニアリテハ各自志望ノ版式ヲ專ラ實習セシメ之ニヨリテ卒業製作ヲナサシム

圖畫師範科

圖畫師範科ハ普通教育ニ從事スル圖畫科教員ヲ養成スルヲ以テ主旨トナスカ故ニ技術家タルト同時ニ教育者タルノ學識品格ヲ養ハンカタメ各科ニ課スル共通學科ノ外教育學及教授法、解剖學、圖按法、幾何畫法、英語、教授練習ヲ課シ實技ハ自在畫、手工、習字ヲ課ス

教育學及教授法ハ教育ノ理論及應用、教育史、學校衛生、教授法ヲ課ス
解剖學ハ骨骼論ト筋肉論トノ大要ヲ授ク

圖按法ハ平面的模様ヲ主トシ立體圖案ヲ加フ

幾何畫法ハ平面圖法、投影圖法、圖法幾何、透視圖法、陰影圖法ヲ授ケ應用問題ヲ練習セシム

英語ハ主トシテ美術及圖畫教育ニ關スル叙事論說ノ講讀ヲ學修セシム

自在畫ハ木炭畫、鉛筆畫、毛筆畫、水彩畫等トシ石膏模型、標本、實物ニ依リテ陰影、濃淡及色彩ヲ授ク其方法ハ寫生ヲ主トシ兼テ見取及考按ノ力ヲ練習セシム第二年、第三年ニ至リテハ塗板上ノ練習ヲ加ヘ第三年ハ殊ニ教授練習ヲ主トシテ初等教育ヨリ中等教育ニ至ル教案ノ編成ヲ行ハシム
手工ハ第一年ニ粘土細工、切貫細工、厚紙細工ヲ、第二年ヨリ第三年ニ亘リテ木工及金工ヲ授ク手工理論及其教授法ハ實習時間内ニ於テ之ヲ課ス
習字ハ運筆ノ練習ヲ主トシ兼テ其教授法ヲ授ク

圖畫教員タルノ課程

師範學校、中學校、高等女學校ノ圖畫教員タラントスル者ノ爲ニ設クル課程ニシテ

日本畫科、西洋畫科、圖按科生徒中ノ志願者ニノミ之ヲ課ス即チ日本畫科ノ志願者ニハ西洋畫ヲ併課シ西洋畫科ノ志願者ニハ日本畫ヲ併課シ圖按科ニハ日本畫西洋畫ヲ併課シ又教育學及教授法、用器畫法ヲ學修セシム

實業教員ノ養成

此課程ハ各種實業學校ノ教員タルヘキモノヲ養成スルヲ以テ目的トシ日本畫、西洋畫ヲ除キタル他ノ各科學徒中志願ニ依リ最終ノ學年ニ於テ教育學、教授法ヲ課スルモノニシテ相當ノ人員ヲ限リ實業學校教員養成規程ニ依リテ一ヶ月金六圓以内ノ學資ヲ補給スルノ途アリ

研究科

研究科ハ各科卒業生ニシテ尙其實技ヲ研鑽セントスルモノ、爲ニ設クル所ニシテ其學修科目ハ各自ニ於テ選擇スルモノナレハ豫メ之カ順序ヲ立テス要ハ研究ノ實ヲ舉クルニアリ在學年限ハ三ヶ年以内トス

選科ハ本科生ノ不足ヲ補フカ爲必要ノ場合ニ於テ入學セシムルモノニシテ各科ノ實技中一課若クハ數課ヲ選ヒテ學修セシム此科ニ入學ヲ許スヘキモノハ豫備科修了以上ノ實技ノカト規定ノ學力ト有スルモノトス其ノ修業年限ハ本科生ニ同シ

各科ニ於ケル共通講授學科

思想ヲ高尚ニシ美術上ノ知識ヲ深邃ナラシムル爲須要ナル學科ヲ各科生徒一般ニ講授ス即チ前記各科ニ特設セルモノ、外各學年ニ配當シテ一般ノ生徒ニ通シ課スル所ノ學科ハ修身、外國語、東洋美術史、西洋美術史、美學、考古學、風俗史等ナリ而シテ是等歴史ニ關スル學科ヲ講授スルニ當リテハ豫メ實物ニ接シタル場合ノ鑑識ヲ養ハンカ爲ニ或ハ現物ヲ以テシ又ハ寫真圖畫ニ依リ或ハ時ニ博物館ニ生徒ヲ伴ヒ若クハ幻燈ニ由リテ説明シ以テ之ヲ會得セシム其各學科ノ各學年配當及時數等ハ本校規則ニ登載シアルヲ以テ茲ニハ之ヲ略ス

生徒心得

(明治四十二年四月改正)

第一 本校ノ規則告諭等ヲ遵守スヘキハ勿論各自其志操ヲ堅固ニシ意想ヲ優美ニシ言行ヲ謹肅ニシ校ノ内外ヲ問ハス苟モ異様ノ容姿ヲナシ又ハ本校生徒タルノ體面ヲ汚ス等ノ舉動アルヘカラス

第二 凡ソ告示ハ揭示シタル時ヨリ一般ニ知了シタルモノト認ムルヲ以テ常ニ能ク注意スヘシ

第三 何等ノ目的タルヲ問ハス本校ノ許可ヲ得ルニ非レハ校内ニ於テ猥ニ多人數會合スヘカラス

第四 實技及學科共其教授時間數ノ三分ノ一以上缺席スルトキハ進級ノ資格ヲ失フモノトス

第五 登校ノ節ハ必ス本校所定ノ制服制帽ヲ著用シ靴ヲ穿ツヘシ如何ナル事由アル

- モ和服ヲ着用シテ教室ハ勿論校舎内ニ出入スルコトヲ許サス
- 第六 各自ノ記名札ハ門ヲ入ルトキ門衛ヨリ受取リテ教室ニ入り所定ノ場所ニ掛ケ退出ノ際ハ教師ヨリ受取リテ門ヲ出ツルトキ之ヲ門衛ノ札懸ニ掛クヘシ
- 第七 授業時間ニ至レハ遲滞ナク教室ニ入り各自ノ席ニ着キ其位次ヲ亂スヘカラス
- 第八 教室ニ入ルトキハ帽子外套ヲ脱スヘシ
- 第九 授業時間中教師ノ許可ヲ得スシテ教室ヲ出テ又ハ他ノ教室ニ入ルヲ得ス
- 第十 授業時間外ニ教室ニ入り又ハ教室備付ノ物品ヲ携出スヘカラス
- 第十一 本校職員ニ對シテハ勿論生徒相互ニ敬禮ヲ重ンスヘシ
- 第十二 校舎ノ整肅清潔ヲ旨トシ總テ喧擾汚穢ノ舉動アルヘカラス
- 第十三 教室ニ於テ終業ノトキハ課業ニ用ユル備品ハ渾テ之ヲ掃除整頓スヘシ
- 第十四 校内ニ在リテハ所定ノ場所外ニ於テ飲食喫煙シ又ハ唾壺外ニ唾ヲ吐クヘカラス

- 第十五 帽子、外套、傘、履物等ハ所定ノ場所外ニ置クヘカラス
- 第十六 宿所ヲ轉スルトキハ速ニ其旨届出ツヘシ
- 第十七 各自ヨリ本校ニ差出スヘキ願伺届書等ハ先以テ當該教員ノ認印ヲ受ケ然ル後之ヲ教務掛ニ差出スヘシ
- 第十八 在學中ハ鄙猥ノ製作ヲナス等ノコトアルヘカラス
- 第十九 在學中ハ本校ノ許可ヲ得スシテ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校或ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス
- 第二十 本校ヨリ貸付シタル物品ハ殊ニ取扱ニ注意スヘシ若シ其物品ヲ汚損シ又ハ紛失シタルトキハ修補セシメ或ハ同品ヲ以テ辨償セシム
- 第二十一 本校ノ許可ヲ得テ圖書標本若クハ其他ノ物品ヲ校外ニ持出サントスルモノハ當該職員ヨリ物品持出證ヲ受ケ之ヲ門衛ニ渡シテ出門スヘシ各自ノ所有品ト雖本校藏品ニ紛ラハシキ物品ヲ携出スルトキハ之ニ準スヘシ

第廿二 生徒ニシテ本校内ニ公告貼札等ヲ爲サントスルトキハ豫メ本校ノ許可ヲ得テ後チ指定ノ場所ニ限り之ヲ揭示スルコトヲ得

第廿三 家族若クハ同居人中又ハ住所ノ近傍ニ於テ激症傳染病ニ罹リタルモノアルトキハ速ニ其旨ヲ本校ニ届出ツヘシ

東京美術學校文庫規則 (明治三十九年十一月改正)

第一條 東京美術學校文庫ハ本校所有ノ圖書標本及生徒成績品ヲ收藏スル所トス

第二條 收藏品ヲ分チテ左ノ五種トス

第一種 通常圖書

第二種 貴重圖書

第三種 通常標本

第四種 貴重標本

第五種 生徒成績品

第三條 本校ノ職員、卒業生、生徒ハ文庫所藏品ヲ閲覧スルコトヲ得

篤志ノ研究者ニシテ許可ヲ得タルモノモ亦同シ

閲覧者ハ閲覧ノ場所及手續ニ就キテハ凡テ文庫掛員ノ指示ニ從フヘシ

第四條 第二種及第四種ノ貴重品ハ閲覧ヲ許ササルコトアルヘシ

第五條 文庫掛員ノ外文庫内ニ入り所藏品ヲ検索シ又ハ出納スルヲ許サス

第六條 文庫所藏品ヲ閲覧セントスルモノハ豫メ閲覧票ノ交付ヲ受クヘシ

篤志ノ研究者ニシテ閲覧セントスルモノハ豫メ其旨ヲ校長ニ願出ツヘシ

第七條 閲覧者ハ閲覧票ヲ携帯スルニアラサレハ閲覧室ニ入ルコトヲ得ス

閲覧者ニシテ室外ニ出ツルトキハ一應閲覧品ヲ返納スヘシ

第八條 閲覧日時左ノ如シ

但シ時宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ

自九月十一日 午前八時ヨリ午後九時マテ
 至十月三十一日
 自十一月一日 午前八時半ヨリ午後九時マテ
 至翌年三月末日
 自四月一日 午前八時ヨリ午後九時マテ
 至七月十日
 自七月十一日 午前八時ヨリ正午マテ
 至九月十日

第九條 定期閉鎖日左ノ如シ

但シ臨時閉鎖日ハ其都度之ヲ揭示スヘシ

歳首 自一月一日 至同月七日 歳末 自十二月二十五日 至同月三十一日

日曜日及祝祭日

本校設置紀念日

曝書期 夏期休業中 三十日間

第十條 各科教室ニ於テ教科用ニ供スルタメ圖書標本等ヲ其教室ノ常備トスル必要アルトキハ教室ノ主任又ハ擔任者證印ノ上其教室ノ常備トナスコトヲ得

但シ圖書標本等ハ各科共通ノ便ヲ圖リ且取締ヲ嚴ニスル必要アルヲ以テ已ムヲ得サル場合ニアラサレハ常備トナササルヲ主意トスヘシ

第十一條 前條ニ依リ教室ノ常備トスル圖書標本等ハ直ニ其教室ノ監守簿ニ記入シ主任又ハ擔任者證印シ物品會計規則ニ依リテ保管ノ責ニ任セシム

第十二條 前條ノ主任又ハ擔任者交迭スルトキハ文庫掛員立會ノ上監守簿ニ照シ更ニ之ヲ後任者ニ引繼ノ手續ヲナスヘシ

第十三條 教室常備ノ圖書標本等ハ毎年七月十日限り文庫掛ヘ返納スヘシ

第十四條 授業上必要ノ爲メ本校ノ名義ヲ以テ他ヨリ借入レ又ハ保管預リヲ爲シタル圖書標本ハ總テ本校所有ノモノト同一ノ取扱ヲ爲スヘシ

但シ他ヨリ借入レタル物品ハ一切校外ヘ帶出ヲ許サス

第十五條 公私ノ團體其ノ他ノモノヨリ圖書標本等ノ帶出閱覽ヲ請フコトアルトキハ文庫掛ハ其期間ヲ明記シタル願書ヲ徴シ校長ノ命ヲ承ケテ之ヲ處理スヘシ

第十六條 帶出閱覽中ノ物品ト雖本校ニ於テ要用アルトキハ隨時返納セシムヘシ
 第十七條 帶出閱覽中ノモノ旅行セントスルトキハ期限内ト雖モ旅行前一旦現品ヲ返納スヘシ

職員ニシテ退職若クハ轉職シタルトキハ直ニ其借受セル圖書標本等ヲ返納スヘシ
 第十八條 凡テ閱覽中ノ圖書標本等ハ他ニ轉貸スルヲ許サス

第十九條 圖書標本等ハ總テ鄭重ニ取扱フヘシ誤テ之ヲ亡失シ或ハ汚染毀損セルトキハ同一品若クハ相當ノ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシムヘシ

第二十條 返納期日其他規定ノ手續ヲ怠リタルトキハ爾後閱覽及借覽ヲ停止スルコトアルヘシ

職員

學校長

從四位勳三等 正木直彦 東京平

塑造

帝室技藝員正五位勳四等 高村光雲 東京平

西洋畫

帝室技藝員從四位 黒田清輝 東京華

木彫、牙彫、裝飾彫刻

帝室技藝員正五位勳五等 竹内久一 東京平

彫金、金工製作法

帝室技藝員正五位勳五等 海野勝珉 東京平

圖案、圖案法、西洋畫

東京高等工業學校教授 正五位勳五等 松岡壽 東京士

解剖學、西洋考古學

正五位勳六等 久米桂一郎 佐賀士

西洋畫、圖案

正六位 岡田三郎助 東京平

西洋畫

正六位 和田英作 鹿兒島士

彫金

正六位勳六等 海野美盛 東京平

蒔繪

帝室技藝員正六位 白山福松 東京平

職員

日本畫	正六位勳六等	寺崎廣業	東京士
西洋建築史、建築學、建築製圖	正六位	古宇田實	東京平
東洋繪畫史、東洋彫刻史	正六位	大村西崖	静岡平
自在畫、幾何畫法、英語、教育學及教授法	正六位勳六等	白濱徵	長崎士
塑造	正六位勳六等	白井保次郎	愛媛平
圖案、圖案法	正六位勳六等	島田佳矣	東京士
製版術、製版用寫真實習、光化學、製版實習	東京高等工業學校教授 正六位勳六等	結城林藏	東京士
鑄造	陸軍歩兵少尉從六位	櫻岡三四郎	茨城士
塑造	正七位	沼田勇次郎	東京平
日本畫	正七位	小堀鞆音	東京平
日本畫	正七位	福井信之進	東京士
西洋畫	正七位	藤島武二	鹿兒島士

材料及藥品學、化學、工藝化學	正七位	鎌田彌壽治	德島平
日本畫、遠近法	東京女子高等師範學校教授正七位	岡田秀	東京平
西洋建築史、建築學、理學、建築製圖	正七位	神木健介	東京平
日本畫	陸軍歩兵曹長從七位勳七等	結城貞松	東京平
圖案、工藝史	東京高等工業學校教授從七位	鹿島英二	鹿兒島士
圖案	東京高等工業學校教授從七位	安田祿造	東京士
助教授			
西洋畫	從七位勳八等	長原孝太郎	岐阜平
鑄造、鑄金製作法		津田信夫	千葉士
調漆、漆工製作法	陸軍歩兵中尉從七位勳五等功五級	石井吉次郎	東京士
圖案、毛筆畫	陸軍一等計手勳七等	千頭庸哉	東京士
西洋畫		小林萬吾	東京平

鑄造、鑄金製作法

體操

塑造

西洋畫

薛繪、漆工史、漆工製作法

鍛金、金工製作法

日本畫

東洋建築史、建築製圖
用器畫法

寫真術大意、寫真實習
製版術、製版實習

自在畫、用器畫法、手工

用器畫法

教務掛兼庶務掛

坂口 肫 東京士

玉田 文作 東京平

水谷 鐵也 東京士

中村 勝治郎 奈良平

堀井 政吉 富山平

石田 英一 佐賀士

松岡 輝夫 千葉平

小場 恒吉 秋田士

伊東 亮次 愛知平

波根 義三 山口士

小島 憲之 東京士

陸軍歩兵曹長勳七等

東京高等工業學校助教

囑託教員(囑託順)

第一高等學校教授從四位勳三等
パチエロル、オフ、アーキテクチュール

調漆

鍛金

佛語

風俗史

金工史

蠟型

東洋建築史

西洋建築史、建築學
建築製圖

體操

修身、教育學

習字

體操

東京帝國大學工科大學助教
從五位勳六等工學博士

關野 貞 新潟士

岡田 信一郎 東京平

羽田 禎之進 宮城平

乙竹 岩造 三重士

岡田 起作 京都士

赤間 運藏 東京平

教務掛主任兼庶務掛
陸軍歩兵中尉從七位勳六等功五級

東京高等師範學校教授從五位

教務掛兼庶務掛
陸軍歩兵少尉從七位勳五等

職員

美學、東洋美術史

手工

木彫

色彩學、印刷術

數學、物理學

化學、化學實驗

建築學

澤村專太郎 滋賀平

東京府豊島師範學校教諭

原田義作 静岡平

印刷局技師正六位勳五等

畑正吉 富士平

東京高等工業學校教授從七位

矢野道也 宮城平

笠原留七 岡山平

小柴英侍 東京平

村井三吾 東京平

雇 (助手)

彫金

日本畫

英語

牙彫

八卷於菟三 山梨平

小泉勝爾 東京士

森田龜之輔 東京平

三浦柳三郎 茨城士

西洋畫

工藝化學

彫金、工藝化學

建築學、建築製圖、用器畫法

日本畫

田邊至 東京士

鈴木宮吉 静岡平

神矢教親 東京平

安藤喜八郎 神奈川平

篠田十一郎 岐阜平

囑託指南 (囑託順)

弓術

柔道

劍術

本多利實 静岡士

井上縫太郎 東京平

木村敷秀 東京士

學校醫 (囑託)

濱野太吉 千葉士

書記

會計主任	從七位勳八等	高田松男	東京平
庶務掛主任兼教務掛		屋代欽三	東京士
教務掛兼庶務掛	勳七等	增井兼吉	東京平
庶務掛兼教務掛		宮島孝	東京士
會計掛		中澤治之助	長野平
文庫掛主任		北浦大介	奈良士
雇		藤岡福三郎	東京平
會計掛		中島新助	東京平
會計掛		寒川澹	東京士
監視		西村綾雄	東京士
教務掛兼庶務掛		吉本吉右衛門	福岡平

文庫掛
會計掛

小泉榮治 東京平
杉浦青治 愛知平

休職員 (休職順)

大正三年一月二十三日休職
大正三年三月三十日休職

書記 磯野富之助 富山士
教授男爵 岩村透 京都華

生徒及特待生姓名 (大正三年十月三十一日調)

日本畫科第一年

望月 尙	山梨平	小倉和一郎	東京平	柳澤真一	長野平
古谷忠夫	山口士	森 戩一	高知士	藤原律太	岡山平
石井義一	千葉平	狩野政次郎	和歌山士	北村寛永	石川平
龍居昌吉	東京平	漆原啓之助	香川平	畑保之	東京士

大貫 堅 栃木平 井上恒也 靜岡平 村上友一 富山平
 岡田忠邦 香川平 番匠雄岳 石川平 谷 公 山形士
 吉田守通 石川士 九里厚博 新潟士 矢部季繼 大阪平
 樹下信雄 東京平

日本畫選科第一年

吉村忠夫 東京士

日本畫選科第二年

山崎善次郎 佐賀士 松浦孝忠 富山平 湯川直春 大阪平
 秦 法成 大阪平 浦志武雄 福岡平 岩田正己 新潟平
 麻田寬嶺 新潟平 田中富彌 東京平 山本茂麿 長野平
 穗積正雄 福島平 矢部友衛 新潟士 三宅一朗 愛知平
 友田宜忠 福井平 宮内龍子 千葉平 森 茂雄 福岡士

山田安士 山形士 星川清雄 山形士 關澄正己 東京平
 吉田 毅 大分平 關戸三郎右衛門 石川平 井上豐治郎 東京平
 西村平間 香川平

日本畫選科第二年

伍 靈 支 那

日本畫選科第三年

佐々木義政 香川平 福田久也 東京士 青木寬四郎 長野平
 秋本一郎 山口平 狩野威信 東京平 島内武敏 高知平
 田上尙之 富山平 勝山恒躬 山形士 河口浩吉 石川平
 井桁 晋 東京士 土肥 實 香川士 北原大輔 長野平
 内田雅愛 德島平 田中恭吉 和歌山平

日本畫選科第三年

佐取輝三 栃木平

日本畫科第四年

佐藤直巳 山形士 鷹巢豐治 佐賀平

土岡 泉 福井平 遠藤 誠 岩手士

阿部 務 福島士 齋藤赫夫 静岡平

日本畫選科第四年

山田是優 東京平

日本畫科卒業期

富田賢太郎 愛知平 太田義一 山形平

服部謙一 愛知平 得重常太郎 山口平

加藤丑之助 富山士 池田 信 大分平

西尾 聖 静岡平 丹羽芳松 愛知平

森 修 佐賀平

鴻巢善藏 福島平

桑田利三郎 香川平

金上盛三 福島平

狩野守久 東京士

林 與 福岡平

友田治夫 兵庫士

植松俊郎 静岡平 郷倉與作 富山平 山根泉介 島根平

山邊重平 長野平 清家 恕 愛媛士

日本畫選科卒業期

夏目利政 東京士 池田桃太郎 岩手平

西洋畫科第一年

中山 巍 岡山士 岡田富藏 東京平 頓野保彦 山口市

西村 叡 神奈川平 井澤龍海 長崎士 阿川徹照 山口市

大津逸次 熊本平 齋藤 廓 和歌山平 太田勝二 東京平

武井武雄 長野士 鈴木清一 茨城平 有光健治 山口市

植木辰夫 山口市 野口六藏 長崎平 岡部敬之助 栃木平

水平 讓 秋田士 里見勝藏 京都平 須永美佐雄 栃木平

吉岡貫一郎 宮城平 大内 齊 東京平 宮坂 勝 長野平

清水龜太郎	廣島平	神谷万吉	愛知平	蘆立文雄	宮城平
島崎敏夫	北海道平	高橋篤治	石川平	小原 整	鳥取士
小野麟之助	愛知平	石井 一	宮城平	高橋涉之介	新潟平
澤枝重雄	北海道平	宮原七二	鹿兒島平	藤谷俊造	廣島平
島田謙三	福井平	宮 芳平	新潟平	藤川宇助	岩手平
西洋畫選科第一年					
許 敦	谷 支那	崔 國	瑤 支那	潘 元	牧 支那
西洋畫科第二年					
小泉素彦	東京士	佃 武昭	岡山平	玉井正之助	愛媛平
飯森定省	石川士	鱈 利彦	千葉平	河上大二	山口士
黑田 新	大阪平	鍋山伴六	福岡平	小野信治郎	滋賀平
池ノ内三郎	埼玉平	笹森清一郎	青森士	谷口午二	鹿兒島士

加藤 廣	埼玉平	小栗清造	愛知平	加納川郁之助	大阪平
大塚辰夫	大分平	遠田運雄	石川平	河越虎之進	長野平
田代 眞	熊本士	三栖敏雄	和歌山平	秋草彌三郎	鳥取平
細井文次郎	愛知平	岡本喜一	東京平	坂東親次	兵庫士
外山佐傳	熊本平	澁谷重保	神奈川平	山本治兵衛	埼玉平
鮫島利久	鹿兒島士	齋藤赤心	福岡士	淵 弘三	佐賀士
藤田雅夫	宮崎士	吉田健夫	東京士	赤松彦次郎	東京平
江木善一	東京平	恩地孝四郎	東京平	高梨 辰	神奈川平
龜井 實	東京士				
西洋畫選科第二年					
李 廷	英 支那	劉 鏡	源 支那	小糸源太郎	東京平
西洋畫科第三年					

飯塚章三	埼玉平	德田多助	東京平	高橋萬之丞	長野平
鈴木淳	東京士	林正三	茨城平	川合改次郎	静岡平
保田重右衛門	和歌山平	井上真	東京士	飯田勇	山口市
新井喜惣治	埼玉平	石原玉吉	埼玉平	三浦秀之助	大阪平
三崎道夫	福井士	吉田鹿次郎	福岡平	石黒義保	長野平
大沼林右衛門	宮城平	鈴木巖	愛知平	清水七太郎	岩手平
小川潔	千葉平	鹿兒島彦次郎	福岡平		

西洋畫選科第三年

山田隆憲	熊本土	嚴智	開支那	金瓚	永朝
江新支那	雷毓	湘支那	方明	遠支那	
汪濟	川支那				

西洋畫科第四年

名越豐	岡山平	吉澤廉三郎	新潟平	木村圭三	福岡士
宮地茂	高知平	寺内萬治郎	大阪平	坂本竹四郎	青森平
曾宮喜七	大分士	角野判治郎	兵庫平	賀來清三郎	大分平
伊東哲	石川平	鶴見守雄	栃木平	耳野卯三郎	大阪平
清水良雄	東京平	河井清一	山口市	草光信成	鳥根平
石川全	石川平	織田信大	東京華	藤森靜雄	熊本土
中村義夫	大阪士	關彥四郎	青森士	鈴木俊平	静岡平
兼光豐治	東京平	大崎豐次郎	東京平	幸福光次	三重平
柿崎清助	青森平	高間惣七	東京平	遠山教圓	東京平
鈴木保德	東京平	椋樹妙立	三重平	田中時治郎	滋賀平

西洋畫選科第四年

金觀 鎬朝 鮮

西洋畫科卒業期

及川康雄	三重平	野田半三	東京士	大久保作次郎	大阪平
松見吉彦	和歌山士	古郡貞一	青森士	中村彌藤治	長野平
守田千穂	福岡平	市川芳太郎	福岡平	金子保	東京士
栗原誠	静岡平	川島穎正	福岡士	福原全秀	東京平
宮武辰夫	香川平	山田誠一郎	北海道平	小松喜代子	福岡平
松美長四郎	石川平	濱哲雄	福岡平	鍋井克之	大阪平
西洋畫選科卒業期					
高義	東朝	鮮藩	壽恒	支那	
彫刻科第一年					
本牧太一	神奈川士	朝香謙	神奈川平	安藤春雄	茨城士
島村治文	高知士	福田正一	香川平	戸田傳次	富山平

彫刻選科第一年

鎌野正美	香川平	川邊繁藏	埼玉平	秦紹世	富山平
杉峯幹雄	山口平	平岡寛之	廣島士	野口益	石川平
濱田増治	大阪平	笹野恵三	神奈川平	吳樂三	東京士
井上襄	兵庫士	佐々重貞	大阪平	米治一	富山平
德見均	佐賀士				
彫刻選科第一年					
白石盛香	宮崎士	後藤清一	茨城平	岩山敬助	鹿兒島士
金鎮爽	朝鮮				

彫刻科第二年

林良三	東京平	宮川準一	石川士	奥原謙太郎	東京士
濱田三郎	神奈川平	岩越二郎	熊本士	寺畑助之丞	富山平
室谷秀次郎	石川平	及川吳郎	岩手平	日名子實藏	大分平

彫刻選科第二年

勝海俊雄 静岡平 山脇二太郎 新潟平 石田午郎 大分平
 佐藤三重三 三重平 高橋仲次 栃木平 夏目貞真 東京士

彫刻科第三年

北原鹿次郎 福岡平 貝塚七郎 三重平 松平榮之助 東京平
 升谷和一郎 石川平 唐杉誠一 東京士 片岡角太郎 大分平

彫刻選科第三年

植田作卯衛門 京都平 榊澤 清 新潟平 駒田濱治 東京平

彫刻科第四年

雨田外次郎 福井平 本間久雄 新潟平 清水彦太郎 大分平
 久本信男 香川平 大國貞藏 大阪平

彫刻選科第四年

田島龜彦 熊本平 長谷部健次郎 富山平 小野清生 大分平
 黒田豊治 石川平 長塚廣造 茨城平 龜岡 崇 東京士
 松永義治 東京士 高木菊太郎 東京平 菅原勝次 岩手平
 山下正次 茨城士 田中 求 茨城平

彫刻科卒業期

高須俊彦 山口平 岡 義治 香川平 長谷川勝之 富山平
 山口不可止 香川平 清水外三郎 富山平

彫刻選科卒業期

塚越東七 栃木平 小野田嘉助 山形平 勝尾二郎 宮城平
 大西三次郎 京都平

圖案科第一年

伊澤晴太郎 宮城平 山田 猷 埼玉平 小川三樹 長野平

關 敬信 茨城士 松田長次郎 岐阜平 吉岡吉太郎 石川平
 高杉正實 廣島平 北 久衛 石川平 竹林義一 富山士
 藤崎邁象 福岡平 高橋鐵雄 石川士 黒木資一 鹿兒島士

圖案科第二年

大石 靖 富山平 矢部金太郎 静岡平 服部季彦 東京士
 寺田元吉 富山平 小澤蘇來 群馬平 杉本盛二郎 石川士
 島田準一 石川士 阿部摺英 石川士 改井德憲 富山平
 加藤善治 秋田士

圖案科第三年

野澤道平 愛知平 富田基一 東京士 安江孝治 石川士
 吉年素彦 大阪平 佐之井憲治 東京平 小西繁太郎 香川平
 石田 瑛 石川平 辻 正幸 富山平

圖案科第四年

林 威三 愛知平 清水吉臣 大阪士 原 三郎 静岡平
 前田健二郎 石川士 大野爲次 富山平 安間立雄 兵庫士
 木下唯親 東京士 小倉 淳 石川士 棚田多作 富山平

圖案科卒業期

淺野 廉 東京平 秋保謹四郎 山形士 水谷慶治 愛知平
 藤岡茂男 東京平

金工科第一年

杉浦哲三 北海道平 吉井 勇 香川平 井關知温 鳥取平
 久松 協 東京華 染谷駒太郎 東京平

金工選科第一年

小林親光 東京平 關省三郎 富山平 川上勝三郎 東京平

史 秉 彥 支 那

金工科第二年

早水 靜馬 群馬平

金工選科第二年

天野 寧三 東京平 藤原 一郎 東京平

松本 春次郎 香川平

武川 誠夫 東京平

金工科第三年

高梨 靜治 新潟平 岩田 藤七 東京平

井上 英一 東京士

田代 辨次郎 栃木平

金工科第四年

堀和 千代彦 茨城平 町川 惣太郎 香川士

大竹 節 東京士

星山 勇藏 鹿兒島士

金工選科第四年

石塚 明三 埼玉平 齋藤 龍太郎 東京平 宮川 郁雄 東京士

前田 實 鹿兒島士

金工科卒業期

手島 達雄 東京平 小杉 直吉 富山平 加藤 幸三 香川平

金工選科卒業期

山崎 敬止 東京士 馬場 信一 東京士 江島 信一 佐賀平

鑄造科第二年

稻場 助次郎 富山平 村井 勝藏 山口士

鑄造科第三年

伊藤 喬 富山士 入江 憲吉 奈良平 丸山 義男 山形士

山本 與三次郎 富山平

鑄造科第四年

波多野龜三郎 滋賀平 一井英一 德島平

鑄造科卒業期

佐藤泰治郎 秋田平 高村豐周 東京平 柳 俊夫 長野士

漆工科第一年

池龜文次 新潟平 奧井直義 富山平 松田權六 石川平

辻 正作 香川平 北森角二 富山平 福澤健一 富山平

鶴田恒二郎 石川平 菊池 馨 青森平

漆工選科第一年

高井榮四郎 新潟平 吉田源十郎 高知平 渡嘉敷唯尹 沖繩士

高山光明 東京士 稻田光太郎 東京平

漆工科第二年

加藤 眞 福井平 竹村 猛 三重平 三好政次 宮崎平

岡 富三 大阪平 田口啓次郎 秋田平

漆工科第四年

生駒 弘 東京士 高野重人 熊本士

漆工選科卒業期

中村保太郎 靜岡士

圖書師範科第一年

林 義明 和歌山平 神田義富 山梨平 早川貞明 茨城士

曾野勝巳 三重士 大迎左文 兵庫平 長澤喜久治 京都平

松田義之 愛知士 辰野源太郎 長野平 福田惠一 廣島平

松岡正雄 奈良平 諸橋政範 新潟平 三森連象 秋田士

兼子秀賢 茨城士 久保熙治 群馬平 櫻場基實 山梨平

生徒及特待生姓名 漆工科 圖書師範科

吉岡修三 千葉平 太田留雄 福島士 石野隆 岐阜士
 半田一雄 廣島平 片岡憲輔 福岡平 篠崎松太郎 長崎平
 高橋吉雄 岩手士

圖畫師範科第二年

神庭亮三 鳥取平 中島信 岐阜平 安藤治作 岐阜平
 關口曉三郎 東京平 小林寬 山梨平 水野一夫 廣島平
 元上岸造 愛媛平 山田武平 宮城士 酒井英吉 福島平
 伊藤好太郎 山梨平 三澤佐助 山形平 東谷俊藏 三重平
 森正男 東京士 佐藤佐 宮城士 八木悌二 静岡平
 山口俊雄 長崎士 田村美勇 山梨平 豐山廉 岡山平
 村上 稠 香川士 滿藤馬之助 岡山平 多米孝 静岡平

圖畫師範科第三年

眞先香苗 兵庫平 中安保 静岡平 安ノ井道三郎 京都平
 品田七太郎 新潟平 穴水義行 青森平 古屋浩藏 山梨平
 太田新吉 宮城平 菅野廉 宮城士 田中稔 福岡平
 佐々木正明 岐阜平 岡部虎雄 福島平 岩壁三郎 神奈川平
 佐藤常五郎 大分士

研究科

○印ハ選科生ヲ示ス

西洋畫 神津港人 長野平 西洋畫 佐藤哲三郎 新潟平
 西洋畫 工藤三郎 北海道平 西洋畫 清原重一 徳島平
 彫刻 新田藤太郎 香川平 金工 野口六三 東京士
 圖畫師範 太田久男 佐賀士 西洋畫 金澤重治 東京士
 彫刻 吉田三郎 石川平 日本畫 中村恒吉 静岡平
 日本畫 奥山常太郎 三重平 西洋畫 山下鈞 東京士

日本畫	鈴木六三郎	東京平	西洋畫	五味清吉	岩手平
西洋畫	熊岡美彥	茨城平	西洋畫	牧野虎雄	新潟士
西洋畫	大塚豐	東京士	西洋畫	坪井玄治	東京平
西洋畫	布目敏行	石川平	彫刻	堀義二	山口平
彫刻	田邊孝次	石川士	彫刻	井上久次	東京平
圖案	廣川松五郎	新潟平	西洋畫	安達賢治	静岡平
日本畫	川路誠	廣島平	日本畫	伊藤順三	東京平
日本畫	小泉政吉	秋田士	日本畫	山下武一	福岡平
西洋畫	吉村芳松	東京平	圖案	津村末男	茨城平
西洋畫	川上四郎	新潟平	圖案	福井鴻逸	岡山平
西洋畫	森脇忠	鳥根平	西洋畫	淺井政藏	鳥取士
西洋畫	岡見富雄	東京平	西洋畫	平田宗胤	東京士

西洋畫	長崎了惠	石川平	西洋畫	原詔光	富山士
西洋畫	小林克巳	東京平	彫刻	中谷宏運	富山平
彫刻	幸崎伊次郎	石川平	彫刻	三浦長壽	静岡平
圖案	飯野眞悟	福島平	漆工	石崎誠二	富山平
漆工	五十嵐三次	富山平	漆工	芝山清次	富山平
漆工	蓮花宗二	富山平	漆工	增川金松	石川平
日本畫	齋藤敬一郎	東京平	日本畫	龍信五郎	東京平
圖案	安藤喜八郎	神奈川平			

特待生姓名 (大正三年九月ヨリ一學年間)

日本畫科第二年	山崎善次郎	佐賀士	日本畫科卒業期	富田賢太郎	愛知平
西洋畫科第二年	小泉素彦	東京士	西洋畫科第三年	飯塚章	三埼玉平
西洋畫科第四年	名越豐	岡山平	西洋畫科第四年	木村圭三	福岡士

生徒及特待生姓名

西洋畫科卒業期及 川 康 雄 三重平 彫刻科第三年 北原鹿次郎 福岡平
 彫刻科第四年 雨田外次郎 福井平 彫刻科卒業期 高須俊彦 山口平
 圖案科第二年 大石 靖 富山平 圖案科第三年 野澤道平 愛知平
 圖案科第四年 林 威 三 愛知平 圖案科卒業期 淺野 廉 東京平
 金工科第三年 高梨 靜 治 新潟平

東京高等工業學校 委託生及特待生姓名 (〇印ハ製版特修モノヲ示ス)

工業圖案科第一年

大宮秀次 東京士 金澤秀雄 島根平 吉田銈次郎 岡山士
 吉田 茂 愛媛平 依田貞健 東京士 築島棟吉 廣島平
 中村政次郎 富山平 中林 孟 島根士 山本勇治 東京士

遠藤 武 千葉士 佐々木 猛 東京平 酒井光義 東京平
 水町和三郎 佐賀士 宮崎榮太郎 三重平 森島魁三 愛知士
 森 光 香川平 杉村 清 愛知士 菅原貞郎 兵庫平

工業圖案科第二年

伊集院兼三 鹿兒島士 伊藤修治 東京平 伊藤政吉 埼玉平
 早船庫之助 埼玉平 星野重英 埼玉平 大石銈介 静岡平
 片山金正 東京平 吉田 賢 愛知士 村山元明 東京士
 山口 操 京都平 藤本和平 熊本平 五味健兒 東京士
 寺坂 毅 宮城士 西郷豊三 愛知平 北島牧夫 青森平
 世良延雄 東京士 黃 銳 支 那 史 振 鵬 支 那
 工業圖案科第三年
 市岡 岱 岐阜平 一里山金助 香川平 西脇寬治 新潟平

富川辰雄 千葉平 渡邊四郎 茨城平 金子清治 福岡平

門屋秀雄 埼玉平 村本萬龜男 岡山士 八木豐次郎 富山平

松永二三男 佐賀士 小林龜五郎 東京平 結城正三郎 兵庫平

森山信治 鳥根平 森谷延雄 千葉士 關本雄治 神奈川平

韓 棟支那 丁乃剛支那

附設工業教員養成所第一年

岩月定次 愛知平 西海幸一郎 山形平 佐藤常治 千葉士

附設工業教員養成所第二年

畑 正一 三重平

附設工業教員養成所第三年

高木吉三 埼玉平 近藤榮二 愛知平

附設工業教員養成所第四年

玉置泰次郎 和歌山平 平井 要 福井平

工業圖案選科生

大橋正治 東京士 田中 淳 東京士 春田政次 東京平

稻垣 憲 東京士 廣川熊夫 佐賀平 岸 宗二 愛知平

小塚 廉 愛知士 古山六郎 岐阜平 宮本英吉 石川平

。ヅイ、デー、パクシ 印 度 山田 勇 東京士 長江直三 愛知士

伊藤文良 北海道平

研究 生

村上 究 鳥根平 板倉操一 東京平 足立剛雄 山梨平

附屬職工徒弟學校製版科第一年

丸山鐵雄 長野平 阿久津文雄 栃木士 佐々木萬壽夫 宮城平

本木興國 長崎平

附屬職工徒弟學校製版科第二年

板倉半次郎 東京平 楠本健太郎 和歌山平 山田 稔 東京士

附屬職工徒弟學校製版科第三年

鈴木誠雄 東京平 竹原好雄 大阪平 中村英夫 山口平 相澤滋郎 長野平
小島俊一 東京士

特待生姓名

工業圖案科第三年 八木豐次郎 富山平 附屬職工徒弟學校 製版科第二年 楠本健太郎 和歌山平

卒業生姓名

日本畫科

日本畫科西洋畫科彫刻科圖案科及圖畫講習科中○印ハ普通圖畫
教員タルノ學科ヲ履修セシモノ△印ハ特別詮議ニ依リ×印ハ受
驗ノ上圖畫教員免許狀ヲ下付セラレタルモノ、圖畫師範科中ノ
○印ハ圖畫手工ノ外習字ノ免許狀ヲ下付セラレタルモノヲ示ス

明治二十六年七月卒業

東京美術學校 關 保之助 東京士 自 營 高屋德次郎 岐阜士
農商務省特許局 岡本勝元 石川士 京都市立高等女 倉田德松 三重平
自 營 内海輝邦 島根士 日本美術院 横山秀鷹 東京平
佐賀縣唐津中學 山田於菟三郎 東京士
校兼高等女學校

明治二十七年二月卒業

日本美術院 下村晴三郎 東京士 東京帝室博物館 溝口禎二郎 東京士
東京美術學校 島田佳矣 東京士 京都府廳 龜岡末吉 東京平
死 亡 西郷 規長野士 自 營 小島光真 岐阜平
廣島縣私立日彰 鷗殿長庚 靜岡士 千葉縣千葉高等 島田友春 山口士
館中學 遷 信 省 小栗常藏 東京平 死 亡 三輪青谷 愛知平

明治二十七年七月卒業

卒業生姓名 日本畫科

東京美術學校。白濱 徵長崎士
 山口縣岩國中學。原 陽 一 山口士
 清洲商店(東京)△志賀 靜 山 大阪平
 三重縣工業試驗所。有元 轍 三郎 岡山平
 廣島高等師範學校。原 貫之助 福岡士
 京都府第二中學。鈴川 信 一 山口士
 宮内省。堤 雄 長 東京華
 自 營 殿村左五平 三重士

明治二十八年七月卒業

死 亡 菱田三男 治 長野士
 自 營 安藤時藏 東京士
 東京府豊島師範學校。井上 良 慶 新潟平
 自 營 小倉 要 東京士
 私立親和高等女學校(神戸)△小林 一意 群馬士
 自 營 小川三知 静岡士
 在 朝 鮮 天草友雄 熊本士
 自 營 中村端三 東京士
 農商務省特許局。志賀貞三郎 石川士
 山口縣師範學校。福原謙之助 山口士
 (東京) 私立錦城學校。戸田 忠 雄 東京華

明治二十九年三月卒業

死 亡 佐伯德介 山口士

明治二十九年五月卒業

死 亡 田村健次郎 東京士

明治二十九年七月卒業

私立女子大學。高橋 勇 福島士
 (東京) 自 營 山脇 雄 吉鳥取平
 在 米 國 高井元吉 廣島平
 北海道師範學校。菅原次郎 北海道平
 自 營 丹羽五十吉 東京士
 自 營 豐岡保太郎 千葉平
 自 營 日本美術院。木村信太郎 茨城士
 自 營 佐藤榮三郎 宮城平
 自 營 私立京華高等女學校(東京)△鈴木武之助 東京平
 遼陽ノ役戰死 埼玉縣浦和中學。櫻井節雄 静岡士
 明治三十七八年 明治三十七八年。羽生道也 鹿兒島士
 遼陽ノ役戰死 自 營 桑名三郎 東京平
 栃木縣女子師範學校。濱中半三郎 東京平

自 營△松原善人長野士 死 亡 田口鎌三郎栃木平

明治三十年七月卒業

自 營△渡邊啓三東京士 新瀧縣長岡女子師範學校 藤卷直治新潟平

東京美術學校 結城貞松東京平 學 習 院。今田直策宮城平

私立在中原學校及精華高等女學校(東京) 豐田宇三郎山形平 自 營△早崎稷吉東京士

第一高等學校。平井富夫東京士 石川縣工業學校 山本昌東京士

死 亡。柿山蕃雄熊本士 東京女子高等師範學校兼東京美術學校 岡田秀東京平

死 亡。桑原彌太郎岡山士 東京府第一中學 高城次郎東京士

私立淑徳女學校及中央商業學校(東京) 乾長光高知士 帝室林野管理局 川勝勸兵衛東京士

自 營△加藤紀高茨城士 私立麻布中學校(東京) 河原崎謙吉東京平

死 亡。川崎周太新潟平 福島縣師範學校 服部保一福島士

死 亡。木村俊秀千葉平 鹿兒島市立商業學校 田中國廣鹿兒島士

神奈川縣橫須賀高等女學校 村岡貞一佐賀士 自 營△小出魯一郎千葉平

自 營△鷗川俊三郎東京士 死 亡 桃澤重治長野平

自 營△鈴木雪哉栃木士

明治三十一年七月卒業

神奈川縣逗子中學校 山崎勇馬高知士 自 營△三浦二郎大阪士

兵庫縣御影師範學校 岡村道三北海道士 死 亡。大平正曹德島士

北海道函館中學校 山縣丹治秋田士 死 亡。齋藤新助岡山平

福井縣福井高等女學校 飯尾駒太郎岐阜平 自 營△松平乘長東京華

農商務省山林局 大石榮雄靜岡士 東京瓦斯會社。高橋玄道東京平

熊本縣師範學校 藤原美治郎大分平 再入學修業中 清家 恕愛媛士

自 營△杉村僊吉三重平

明治三十二年七月卒業(河崎謙吉ハ三十年卒業シタルモ再ヒ入學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ)

死 堀内喜一 富山平
 秋田縣大館中學 工藤 晨青森士
 鹿兒島縣圖書講習會 梶川儀夫 千葉士
 山形縣山形中學 桃井義一 山形士
 岡山縣笠岡實科高等女學校外二 跡見三次郎 東京平
 前 出。河原崎謙吉 東京平

明治三十三年七月卒業

自 營。移川三郎 福島平 德島縣德島中學 生井平太郎 岐阜平
 私立成城學校 (東京) 網島政治 岡山平 私立芝中學校 (東京) 竹ノ下舊俊 鹿兒島士
 死 亡。鶴田幾太郎 山梨平 青森縣青森中學 三浦自也 岩手士
 自 營。伊原六郎 埼玉士 自 營。中田 清 東京平
 明治三十三年十月卒業
 自 營。宅和鋼 一鳥根士 和歌山縣田邊中學校 岡野賢三 滋賀士

明治三十四年七月卒業 (鶴川俊三郎ハ三十年卒業シタルモ再ヒ入學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ)

自 營。中原佐治郎 鳥根平 佐賀縣有田工業學校 藤井 豐 千葉士
 自 營。前波覺次郎 福井平 自 營。野口駿尾 東京士
 自 營。有馬龍秀 東京平 自 營。杉野松太郎 廣島平
 自 營。岩井昌三 三重士 滋賀縣師範學校 今井重信 三重士
 關東都督府中學 佐々木物三郎 福井平 兵庫縣姫路師範學校 竹内 勝 東京士
 和歌山縣師範學校 石野氏承 石川士 前 出。鶴川俊三郎 東京士

明治三十四年九月卒業

大阪府泉南高等女學校 關 欽 哉 東京士

明治三十五年七月卒業

自 營。川村東陽 東京士 神奈川縣女子師範學校 山邊知臣 福島平
 石川縣金澤第一中學校 足立 啓 東京平 鳥取縣米子中學 岡村吉樹 鳥取士

愛媛縣今治中學。菅 季 吉 愛媛平 日本美術院。大智恒一 愛媛平
 新潟縣三條中學。秋 保親 美山形士 在米國。古田土貞治 栃木平
 熊本縣八代中學。伊 勢寬 一長崎士 山形縣庄內中學。小 貫 廉 東京平
 校兼染織學校
 自 營。高橋來平 埼玉平 自 營。秋野外也 東京士
 富山縣工業學校。中 島次郎 東京平
 明治三十六年七月卒業
 福岡醫科大學。永 倉 茂 千葉士 死 亡。中 島重丸 福岡士
 新潟縣新潟高等 西方俊造 新潟平 私立龍谷中學校。腹卷勝太郎 佐賀士
 女學校 (佐賀市)
 自 營。久野龜之助 東京平 自 營。笹島秀彌 山形平
 明治三十七年三月卒業
 岩手縣福岡中學。葛 揆一郎 岩手士
 明治三十七年七月卒業

東京美術學校。松 岡輝夫 千葉平 審美書院(東京)。川 面義雄 東京平
 靜岡縣師範學校。渡邊忠三郎 新潟平 自 營。榎本正之助 東京平
 自 營。長峰登良雄 千葉平
 明治三十八年七月卒業

自 營。毛利教定 東京平 文科大學史料編。護 城惠滿 廣島平
 私立石川中學校。有 安助 二 神奈川士 群馬縣高崎中學。牧 野左武 茨城士
 (福島縣) 校
 靜岡縣沼津中學。前 田千寸 高知平 自 營。井上良介 山口平
 明治三十九年四月卒業 (鈴木雪哉ハ三十年卒業シタルモ再ヒ入
 學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ)
 自 營。大村友雄 石川平 自 營。西村喜三郎 大阪平
 自 營。水上泰生 福岡士 自 營。橋爪成一郎 石川士
 死 亡。後藤茂啓 靜岡士 臨時博覽會事務 局(在米國)。小 沼 直長 野平
 山梨縣都留中學。平 山謙一 東京士 前 出。鈴木雪哉 栃木平

明治四十年三月卒業

東京美術學校。小泉勝爾東京士。東京府第一高等女學校。荻生守俊福島平。
 自。營。近藤治義新潟平。大阪府堺市立女子技藝學校。西岡純平熊本士。
 大阪府夕陽丘高等女學校。山田廉琦玉平。奈良女子高等師範學校。多賀谷健吉東京士。
 香川縣木田實科高等女學校。江村清三郎香川平。自。營。鹽崎一郎富山平。
 自。營。佐々木璋松新潟平。青森縣弘前高等女學校。相馬治四郎山形士。
 自。營。飯島保次郎神奈川平。千葉縣成田中學校。榎本省三東京士。
 福井縣武生中學校。森田靜也福井士。高田日報社(新潟縣)。磯野壽吉佐賀士。
 明治四十年五月卒業
 山形縣鶴岡高等女學校。相馬正巳山形士。死。亡。久保薰歎愛媛平。
 明治四十年七月卒業平井富夫ハ三十年、山崎勇馬ハ三十一年卒業シタルモ再ヒ入學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ
 神奈川縣小田原中學校。三橋信吉千葉平。前。出。平井富夫東京士。

明治四十一年三月卒業

前。出。山崎勇馬高知平。
 自。營。石坂武一東京平。自。營。久保提多青森士。
 自。營。野生司述太香川平。靜岡縣沼津駿東高等女學校。伊藤貞夫新潟平。
 (三越)吳服店。大畑二郎熊本士。新潟縣高田師範學校。武藤直信石川士。
 富山縣工藝學校。高桑純吉石川士。帝國大學史料編纂掛。坂内瀧之助福島士。
 明治四十二年三月卒業
 自。營。野原安司岐阜平。川端繪畫研究所(東京)。香川敬事千葉平。
 自。營。竹田豐太郎鳥根平。自。營。増田久太郎長野平。
 熊本縣熊本中學校。甲斐英雄熊本士。私立海城中學校(東京)。生野恒太郎大分平。
 新潟縣小千谷中學校。大越直宮城士。自。營。永田米吉東京平。
 私立慶應義塾幼稚舎(東京)。石川巖千葉平。

明治四十二年六月卒業

岡山市弘西尋常小學校兼深抵尋常小學校。室野琢磨 石川士

靜岡縣濱松中學。朝倉五郎 茨城士

明治四十三年三月卒業

自。營。川崎隆一 愛知平

自。營。吉田清二 石川平

自。營。丹羽賢京 都平

自。營。大串喜代次 佐賀平

自。營。濱谷榮次郎 東京平

自。營。中島彥福 岡士

自。營。太田益三郎 福島士

熊本縣濟々愛。下林繁夫 熊本士

岡山市旭東尋常小學校兼清輝尋常小學校。安井厚 石川士

福島縣相馬中學。小森研二 岐阜平

大阪府市岡高等女學校。岡田純二 香川士

兵庫縣伊丹中學。古東謙吉 兵庫平

大阪市東區清堀尋常小學校。小籾寛二 和歌山平

兵庫縣佐倉中學。南部茂 高知平

明治四十四年三月卒業

死。亡。土橋三郎 福島平

千葉縣佐倉中學。南部茂 高知平

自。營。戸田正夫 岡山平

死。亡。柴田健次郎 愛媛士

私立攻玉舍中學(東京)。渡邊泰輔 新潟平

奈良縣櫻井高等女學校。富田一昭 奈良士

三重縣上野中學。戸部隆吉 石川平

秋田縣秋田中學。青山扶島 根平

自。營。大山文吉 東京士

自。營。跡部直治 東京士

長崎縣中學猶興館。清島長次 長崎平

自。營。足立季彦 高知士

明治四十五年三月卒業

濱谷榮次郎ハ四十四年卒業シタルモ再ビ入學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ

自。營。篠原圓次 長野平

(東京)松屋吳服店。田村外喜雄 石川平

東京市下谷黒門町小學校。大山逸八 新潟平

自。營。岡村榮香 川平

自。營。長井智覺 佐賀平

北海道第二札幌中學校。白。玄徳 島平

自。營。小森二郎 石川士

自。營。井上利正 島根平

愛知縣高等女學校。川幡伍一郎 東京平

自。營。山本信太郎 兵庫平

山形縣新庄中學。清水潔 新潟平

前。出。濱谷榮次郎 東京平

前 出。戶田正夫 岡山平

明治四十五年七月卒業

自 營 廣島新太郎 德島平

大正二年三月卒業

東京美術學校。篠田十一郎 岐阜平

自 營。船越 謙兵 庫平

自 營。田鎖 秀岩 手士

研究科修業中。川路 誠 廣島平

自 營。柏谷義一 大阪平

自 營。麻畑 重福 岡士

自 營。菊池猶喜 福岡士

自 營。河島義市 兵庫平

國華社(東京)。永田良亮 茨城平

自 營。内田他治郎 石川士

千葉縣木更津中學校兼高等女學校。高橋卓一 千葉平

研究科修業中。伊藤順三 東京平

三越吳服店(東京)。佐藤久米 茨城士

栃木縣真岡中學。中島 研 靜岡平

在米國。小泉政吉 秋田士

自 營。掘江 清島 根士

自 營。丹羽善五郎 群馬平

自 營。木實谷喬壽 福島平

大正三年三月卒業(中島研、丹羽善五郎ハ大正二年卒業シタルモ、再ビ入學シ圖畫教員タルノ課程ヲ修メタリ)

研究科修業中。齋藤敬一郎 東京平

自 營。立野甚一 富山平

自 營。根岸庄助 埼玉平

自 營。三宮 恒新 湯平

前 出。丹羽善五郎 群馬平

自 營 赤阪 永新 湯平

自 營 寺門祐之 茨城平

自 營 石川廣助 茨城平

自 營 新湯縣新湯中學。佐藤悠次郎 新湯士

前 出。中島 研 靜岡平

西洋畫科

明治三十三年七月卒業

自 營。窪田喜作 岐阜平

死 亡。椎塚修房 東京士

自 營。原田竹二郎 山口平

私立京北中學校(東京)。柴崎恒信 愛媛士

明治三十四年七月卒業

自 營。西 伊三次 東京士
 私立滋賀縣天台 喜多村悅三 茨城士
 宗西部中學校 死 亡 平 子 尙 三重平
 自 營。金澤悌次郎 北海道平
 大阪陸軍地方幼 五味和十 長野平
 年學校

明治三十五年七月卒業

自 營。鹽 見 競 岡山平
 德島縣富岡中學校 大 東 昌 可 福岡士
 建築學會(東京) 松 原 康 雄 岡山士
 私立實踐女學校 (東京) 小 笠 原 丁 東京華
 自 營。山 田 榮 吉 大阪平
 東京府第三中學校 內 野 猛 宮崎士
 自 營。小西正太郎 秋田平

明治三十六年七月卒業

自 營。神子 鐵 雄 東京平
 自 營。岡 四 郎 東京士
 自 營。高山六郎 福岡平
 臺灣總督府 (東京) 速 水 不 染 大分平

明治三十七年七月卒業

岩倉鐵道學校 (東京) 谷 齊 一 栃木士
 大阪府富田林中 學校(東京) 岩 鼻 正 修 京都士

明治三十八年七月卒業

自 營。橋 口 清 鹿兒島士
 帝國劇場株式會 社 薄 拙 太郎 福岡平
 自 營。脇 坂 安 之 兵庫華
 朝鮮京城民團立 高等女學校 丸 野 豐 福岡士
 私立北海中學校 (札幌) 關 精 一 茨城平

明治三十九年四月卒業

自 營。人 見 雪 彦 京都士
 東京美術學校 森 田 龜 之 輔 東京平
 自 營。西 三 雄 東京士
 私立順天中學校 及中央工學校 (東京) 江 南 武 雄 北海道平

明治四十年三月卒業

自 營。櫛 田 利 雄 愛知平
 自 營。秋葉鎌三郎 東京士

自 營。猪飼俊二愛知平 死 亡。佐藤 勉宮城士
 校鹿兒島縣師範學。五島健三富山平 在 米 國。陣內貞義佐賀士
 在 伊 國。寺崎武男東京平 死 亡 榎本 彦東京士
 自 營。南 薰 造廣島平 自 營 永田二郎埼玉平
 自 營 平井武雄東京平 死 亡。斯波義辰福井士

明治四十一年三月卒業

萬朝報社(東京)。中野修二新潟平 校 熊本縣鹿本中學。武藤 直熊本士
 讀賣新聞社(東京)。小林永次郎栃木平 自 營 太田喜二郎京都平
 自 營。油井忠助福島平 自 營 吉田 苞岡山士
 校 熊本縣高等女學。美作武雄熊本士 帝國劇場株式會社(東京)。松林千里福岡士
 自 營。島田繁夫德島平 自 營 川北元英三重士
 自 營。松野 清靜岡平 校 福岡縣小倉中學。杉田宇內愛知平

埼玉縣柏壁中學。世古 溫靜岡平

明治四十二年三月卒業

在 佛 國。金山平三兵庫平 農科大學 渡 邊 軻新潟平
 自 營 有田四郎熊本士 自 營 紺野三郎福岡平
 奈良女子高等師範學校。山本兵三東京士 福岡縣直方高等女學校。宮崎秀勇大分平
 校 鳥取縣鳥取中學。久米福衛德島士 自 營 中村元麿滋賀平
 自 營 麻生 茂千葉平 自 營 眞田久吉東京平
 自 營 小林德三郎德島平 自 營 鹿毛屋藏福岡士
 校 愛知縣第五中學。菊池香三岩手士 群馬縣前橋高等女學校。上田貞次新潟士
 自 營。溝淵盛美高知平

明治四十三年三月卒業

東京美術學校 田邊 至東京士 自 營 加藤靜兒愛知平

帝國劇場株式會社(東京) 田中 良 鹿兒島士 國民新聞社(東京) 山下 鈞 東京士
 自 營 中井金三 鳥取平 自 營 新井 完 兵庫士
 在佛國 長谷川 昇 北海道士 帝國劇場株式會社(東京) 香田勝太 鳥取平
 自 營 近藤 浩 山梨平 自 營 長野靖彦 鹿兒島平
 自 營 九里四郎 東京士 滋賀縣膳所中學 山脇信德 高知士
 在佛國 藤田嗣治 千葉士 自 營 住谷宗一 群馬平
 中外商業新報社(東京) 大谷 浩 岡山平 自 營 清水大助 東京平
 鳥取縣師範學校 三隅禎三郎 山口平 富山縣魚津中學 佐々木直哉 岩手士
 自 營 北古賀順橋 佐賀士 自 營 小川長四郎 新潟平
 自 營 蒲生俊武 岐阜平 自 營 大村周二 石川平
 神奈川縣厚木中學校 河野繁市 宮崎平 死 亡 井上六郎 東京士

明治四十四年三月卒業

自 營 山口亮一 佐賀士 自 營 大久保喜一 埼玉平
 自 營 中野營三 香川士 博文館(東京) 佐野貞雄 福島士
 自 營 脇 龜太郎 德島平 自 營 富田溫一郎 新潟士
 自 營 鈴木良治 新潟平 自 營 鈴木秀雄 東京士
 自 營 大野隆德 千葉平 自 營 橫井禮一 愛知平
 自 營 菊池五郎 茨城士 自 營 小寺健吉 岐阜士
 月島小學校(東京) 諸澤虎雄 秋田士 自 營 東 守 七 三重平
 自 營 原 勇 宮城士 自 營 人見 彌 愛知平
 自 營 加藤公正 京都平 自 營 三宮知義 北海道平
 香川縣高松中學 濱田盛基 熊本士 死 亡 中溝四郎 佐賀士
 自 營 坂井戒爾 東京華

明治四十五年三月卒業

兵	役	御厨純一	佐賀平	研究科修業中	神津港人	長野平
自	營	北島淺一	佐賀平	研究科修業中	佐藤哲三	新潟平
自	營	工藤三郎	北海道平	研究科修業中	清原重一	德島平
自	營	三國久	新潟平	一年志願兵	杉江春男	廣島士
在	外	齋藤知雄	東京士	自	片多德郎	大分平
自		大江九二太郎	東京平	自	淺井松彦	東京平
自	營	堤龍雄	山梨平	自	井上清一	廣島平
自	營	萬鐵五郎	岩手平	福岡縣嘉穂中學	倉智亮三	福岡平
自	營	平井爲成	香川平	自	山下鐵之輔	福岡平
在	英	國	栗原忠貳	靜岡平		
自	營	五味清吉	岩手平	自	熊岡美彦	茨城平

大正二年三月卒業

自	營	森山肇	東京士	研究科修業中	吉村芳松	東京平	
自	營	酒井榮之	富山平	研究科修業中	安達賢治	靜岡平	
研究科修業中		牧野虎雄	新潟士	靜岡縣榛原中學	川上四郎	新潟平	
研究科修業中		大塚豐	東京士	研究科修業中	坪井玄治	東京平	
自	營	江馬春吉	岐阜平	自	布目敏行	石川平	
自	營	中尾春雄	廣島士	在	外	清野善彌	宮城平
兵	役	河目悌二	愛知士	自	營	及川吳郎	岩手平
自	營	兒玉直之助	秋田平	自	營	平澤文吉	新潟平
自	營	竹村岱造	新潟平	自	營	鈴木梅月	新潟平
岩手縣花卷高等女學校		樋渡留太郎	山形平	自	營	田中泰吉	東京士
自	營	高橋信	千葉士	自	營	羽場金司	青森平
兵	役	三宅鑑吉	東京平				

大正三年三月卒業

〔兒玉直之助ハ大正二年卒業シタルモ再ビ入學シ圖書教員タルノ課程ヲ修メタリ〕

○研究科修業中 森 脇 忠 島根士 研究科修業中。淺井政藏 鳥取士
 自 營 近藤芳男 東京士 自 營。藤田 遜 佐賀平
 自 營 小出楢重 大阪平 在 米 國 遠山五郎 福岡士
 自 營^c 三浦良勳 愛知平 自 營 森島直造 東京平
 研究科修業中。岡見富雄 東京平 死 亡 久保篤 敬 山口平
 研究科修業中 平田宗胤 東京士 自 營 島山秋夫 秋田平
 兵庫縣柏原中學 小林克己 東京平 研究科修業中 長崎了惠 石川平
 自 營 伊藤 鼎 岩手平 自 營 山田 實 茨城平
 自 營 原 詔 光 富山士 自 營 楠本秀男 和歌山平
 自 營 服部亮英 三重平 前 出。兒玉直之助 秋田平

彫刻科

明治二十六年七月卒業

東京美術學校 大村 西 崖 靜岡平 東京美術學校 白井保次郎 愛媛平

明治二十七年二月卒業

自 營 宮本二七郎 廣島士 未 詳 峯 斧 吉 佐賀平

明治二十七年七月卒業

古社寺保存會 新納忠之介 鹿兒島士 自 營 龜田德太郎 三重平

大阪府職工學校 黒 岩 倉 吉 東京平 本山工場主 本山辰 吉 高知士

自 營^x 田中助太郎 福岡士 東京高等工業學校 板谷嘉七 茨城平

死 亡 美田萬壽之介 埼玉平

明治二十八年七月卒業

自 營 後藤 省 吾 和歌山士

明治二十九年七月卒業

美術院(奈良)

菅原大三郎 山形平

福井縣師範學校

野村厚生 福井士

自 營

鮎澤秀夫 長野士

自 營

澤藤太郎 千葉平

明治三十年七月卒業

自 營

天岡均 一兵庫士

死 亡

村尾平 吉鳥取士

自 營

信谷友三 東京士

自 營

淺野勇次郎 愛知平

自 營

上木俊一 福井士

自 營

松原象雲 熊本平

香川縣多度郡鹽飽工業學校

中川萬次郎 熊本平

自 營

賴富新 吉香川平

明治三十一年七月卒業

死 亡

野口藤三郎 佐賀士

印刷局

木澤禎 和歌山平

明治三十二年七月卒業

自 營

中村直彦 東京士

自 營

渡邊長 男 大分士

京都市陶器試験場

三橋清青 森士

自 營

山本八十三 大阪平

自 營 秋山要治 北海道平

明治三十三年七月卒業

自 營

長愛之 栃木士

自 營

船井登久太郎 東京平

自 營

阿部光治 新潟平

死 亡

石井徳千代 東京士

明治三十四年七月卒業(木彫科)

石川縣工業學校

青木外吉 石川士

死 亡

本保義太郎 富山平

横須賀海兵團

足立厚實 東京士

明治三十四年七月卒業(鑿造科)

早稻田大學

武石弘三郎 新潟平

明治三十五年七月卒業(○印ハ木彫科△印ハ鑿造科卒業ヲ示ス)

東京美術學校

水谷鐵也 東京士

自 營

高村光太郎 東京平

日本陶器會社(名古屋)

島宗磨 瑳雄 新潟平

自 營

石川成錄 静岡士

死 亡 山本筍一 石川士 美術院(奈良) △細谷三郎 群馬士

明治三十六年七月卒業(製造科)

自 營 遠藤 忠雄 新潟平

明治三十七年七月卒業

自 營 宮原常二郎 富山平

明治三十八年七月卒業

香川縣工藝學校 竹內友 吉富山平 死 亡 竹內定 吉富山平

自 營 石川 確治 山形平

明治三十九年四月卒業

東京美術學校 畑 正 吉富山士 自 營 田中雄一 香川平

明治四十年三月卒業

自 營 小倉右一郎 香川平 名古屋製陶所 吉田政一 鳥取平

自 營 藤井浩祐 東京平 學習院 加藤直泰 富山士

大日本銘石商會 (横濱) 勝尾準太郎 石川士 大阪高等工業學校 吉田祥三 香川平

自 營 中村武平 香川平 農商務省實業練習生(在伊國) 武田 榮 大阪平

明治四十一年三月卒業

在 佛 國 藤川勇造 香川平 自 營 小田慈善 香川平

自 營 木下多聞 東京士 大日本銘石商會 (横濱) 高橋直人 長野士

在 伊 國 和田嘉平次 栃木平 自 營 蘆野 廣 東京平

明治四十二年三月卒業

自 營 朝蔭圓次郎 愛知平

明治四十三年三月卒業

岐阜縣土岐郡立 陶器工業學校 松村秀太郎 富山平 自 營 津村央喜 香川平

自 營 清水太助 東京平

明治四十四年三月卒業

自 營 入谷昇 香川士

自 營 和田季雄 東京士

死 亡 山田勝 大阪平

明治四十五年三月卒業

自 營 北村西望 長崎平

自 營 吉田三郎 石川平

自 營 藤谷嘉一 石川平

自 營 肥田武馬 香川士

美術院(奈良) 數見定一 東京士

大正二年三月卒業

自 營 橋本久米二郎 茨城士

自 營 鶴崎乙也 兵庫士

自 營 大藏雄夫 石川平

自 營 新田藤太郎 香川平

自 營 矢野誠一 香川平

自 營 須田速人 宮城平

自 營 加藤孝三 千葉平

自 營 山川豐松 石川平

戸田組(東京)

研究科修業中 堀 義二 山口平

自 營 松浦順吉 山形平

自 營 保岡熊彦 東京士

一年志願兵 谷本清太郎 香川平

自 營 山内文世 福井平

愛知縣瀬戸陶器學校 金澤彌三郎 東京平

大正三年三月卒業

日本陶器會社(名古屋) 林 健市 廣島士

自 營 岡崎朋邦 富山平

自 營 川島鼎三 栃木平

一年志願兵 佐々木長次郎 富山平

研究科修業中 中谷宏運 富山平

自 營 千石泰治 福井平

美術週報社 田邊孝次 石川士

自 營 安部 然 大分平

自 營 河村 弘 岐阜平

研究科修業中 幸崎伊次郎 石川平

圖案科

明治三十一年七月卒業

內務省造神宮使。井上 清千葉平 自 營△川上爲之助 靜岡平

明治三十二年七月卒業

高島屋吳服店。河邊 正夫 岡山士 東京美術學校。千頭 庸哉 東京士

福井縣福井中學。吉田 衡福井士 死 亡。小檜山右近 福島士

山梨縣甲府中學。伊藤啓次郎 東京平 特許代理業。竹本 曜二 東京士

自 營。久保田 誠次郎 愛媛平 支那國天津直隸 松長長三郎 東京士

栃木縣廳。江島五三郎 東京平 富山縣工藝學校。中西 乾 靜岡士

明治三十三年七月卒業

自 營。大槻才吉 山形士

明治三十四年七月卒業

大阪府清水谷高等女學校。佐藤健四郎 德島士

明治三十六年七月卒業

東京美術學校。小場 恒吉 秋田士

明治三十八年七月卒業

富山縣廳。十二町貞吉 富山平 澤田誠一郎 京都平

明治三十九年四月卒業

鐵道院。人見 鐵三 滋賀士 三越吳服店。小島喜三郎 佐賀士

三越吳服店。森 垣 榮兵庫士 新潟縣高田高等女學校。松川第八郎 新潟平

明治中學(東京)。中久木 富二郎 東京士

明治四十年三月卒業

文部省。阪谷良之進 岡山士 死 亡。君島金三郎 福島士

自 營。鈴木善夫 和歌山士 石川縣工業學校。三野 雅一 香川士

明治四十一年三月卒業

自 營。古田立次 岡山士 南工場圖案部。島 齊 東京平

京都府廳。岸 熊 吉福井平
 京都府第五中學。高澤雅雄 德島平
 東京瓦斯會社。飯塚 豐千葉平
 長崎縣中學玖島。鶴田卯來雄 熊本士
 學館

明治四十一年六月卒業

富山縣高岡中學。永榮 定義 富山平

明治四十二年三月卒業

京都府第一中學。加藤卓爾 新潟平
 清水組(東京)。寺尾熙一 兵庫平
 大西白牡丹。廣瀬尋常 高知士
 自營。富本憲吉 奈良平
 自營。酒卷仁兵衛 栃木平
 白木屋吳服店。番匠勇作 石川平
 (東京)

明治四十二年六月卒業

朝鮮總督府中學。日吉 守 東京士

明治四十三年三月卒業

藤原商店(大阪)。辰巳銀二 東京平
 自營。飯田德三郎 山形平
 死。山岡隆芳 福島士
 鐵道院。窪島政男 山形士
 三重縣第三中學。今野清三郎 宮城平
 自營。高橋 要 岐阜平
 農商務省。鈴木範三 東京平
 自營。中井鉦作 愛知平

明治四十四年三月卒業

自營。高橋昇太郎 京都平
 桐生圖案調製所。伊井彌之助 富山平
 (群馬縣)
 京都市立美術工藝學校。千熊宇平 鳥取平
 死。小川正雄 長野士
 自營。西村小二郎 東京平
 福島縣工業試驗場。幡野久太郎 愛知平
 香川縣丸龜中學。藤本 稔 香川士
 岩手縣工業學校。中井彌五郎 香川平

明治四十五年三月卒業

日本電報通信社。信田了平 富山平
 帝國裝飾會社(東京)。山崎陽一 山梨平

早稻田大學 今 和次郎 東京士

松屋吳服店。和田順顯 石川平

大正二年三月卒業

川島織物所。瀧川 一則 鳥取士

自 營。森田 潔 京都平

自 營 廣川松五郎 新潟平

自 營 津村末男 茨城平

自 營 齋藤佳藏 秋田平

時事新報社 町田 英群 馬平

大正二年六月卒業

弘報堂(東京) 福井鴻逸 岡山平

大正三年三月卒業

東京美術學校 安藤喜八郎 神奈川平

大林組(大阪) 木村得三郎 宮城士

卜工商會 (東京) 飯野眞 福岡平

自 營 松本末男 東京士

白木屋吳服店 (東京) 伊藤 豐 愛知平

静岡縣工業試驗場。藤村彦四郎 佐賀平

自 營 板倉勝磨 東京平

一年志願兵。專頭憲太郎 大分士

彫金科

明治二十七年二月卒業

大阪造幣局 飯田仁三郎 東京平

特許代理業 (大阪) 齋藤秀岳 東京士

明治二十七年七月卒業

清國上海商務印書館 角田宇真藏 島根平

明治二十八年七月卒業

自 營 岡部覺彌 福岡平

明治生命保險會社(東京) 望月銃三郎 靜岡士

明治二十九年七月卒業

香川縣工藝學校 田雜五郎 佐賀士

香川縣工藝學校 清水龜藏 廣島平

印刷局 福島 仲 東京士

廣島縣職工學校 山本義雄 東京士

明治三十年七月卒業

死 亡 海野豐太郎 東京平

三木本眞珠店 (東京) 小泉永雄 石川平

煙草專賣局伏見
分工場

山田有方 富山士

東京府工藝學校 山本正三郎 香川平

明治三十一年七月卒業

自 營 蘆澤鴻次 香川士

明治三十二年七月卒業

自 營 四谷正美 岡山平

明治三十四年七月卒業

村松第二工場 (東京) 滑川兼彦 茨城士

自 營 海野銀三郎 東京平

村松第二工場 (東京) 市島市太郎 東京平

明治三十六年七月卒業

自 營 野村陸雄 東京士 自 營 遠藤諄二 東京士

明治三十八年七月卒業

自 營 川部榮治 山形士

鍛金科

明治三十二年七月卒業

在米國 山下英夫 東京平

明治三十三年七月卒業

東京美術學校 石田英一 佐賀士 自 營 曾根 銳 静岡士

金工科 (明治三十八年九月ヨリ彫金科鍛金科ヲ合シテ金工科ト改稱ス)

明治三十九年四月卒業

自 營 木村第一郎 東京士

明治四十年三月卒業

東京美術學校 八卷於菟三 山梨平 自 營 山川茂雄 石川平

村松第二工場 (東京) 前田四郎 東京士

明治四十二年三月卒業

卒業生姓名 鍛金科 金工科

自 營 神谷甚一郎 東京平

明治四十三年三月卒業

自 營 蒲生鐵男 福岡平

自 營 佐藤省吾 静岡平

明治四十四年三月卒業

豐田工場(東京) 北原千祿 香川平

自 營 松尾廣吉 香川平

明治四十五年三月卒業

東京美術學校 神矢教親 東京平

自 營 田中賑吉 埼玉平

自 營 根尾謙兒 廣島士

大正二年三月卒業

自 營 岩崎文七 岩手平

自 營 海野清 東京平

西洋畫科再入學 小糸源太郎 東京平

在米國 寺島恕 富山平

研究科修業中 野口六三 東京士

天野工場(東京) 漆間宏 北海道平

一年志願兵 磯野三郎 富山士

大正三年三月卒業

自 營 大森俊治 茨城平

鑄造科(明治三十八年九月ヨリ鑄金科ヲ鑄造科ト改稱ス)

明治二十七年二月卒業

在安南國 石川己七雄 北海道士

死 亡 宮田辰太郎 東京士

明治二十七年七月卒業

死 亡 西原猪太郎 京都平

明治二十八年七月卒業

自 營 田中後治 新潟士

富士製作所主 日本美術社 原安民 神奈川平

三菱造船所(長崎) 染川浪江 佐賀士

卒業生姓名 鑄造科

明治二十九年七月卒業

自 營 武井真澄 長野平

明治三十年七月卒業

東京美術學校 香取秀治郎 千葉平 東京府工藝學校 山本茗次郎 石川平

自 營 榎井菊治郎 京都平 長崎市役所 松田鹿三 愛知士

明治三十一年七月卒業

自 營 鈴木 一宮城士 東京美術學校 坂口 朧 東京士

明治三十二年七月卒業

自 營 香田麟橘 佐賀士 在米國 江良剛 治熊本土

自 營 松橋宗明 岩手士 鐵道院新橋工場 戸原鹿之助 福岡士

明治三十三年七月卒業

東京美術學校 津田信夫 千葉士 自 營 八戸 豐 大阪平

明治三十四年七月卒業

在米國 新免教太郎 岡山平

明治三十九年十一月卒業

(永島工場主) 永島三郎 千葉平

明治四十一年三月卒業

(淺井工場主) 淺井定吉 東京平

明治四十二年三月卒業

自 營 山本貞治 新潟平 自 營 津田良次郎 富山平

明治四十三年三月卒業

鐵道院大宮工場 鈴木文衛 山形士

明治四十四年三月卒業

自 營 太田靜一 大阪平

明治四十五年三月卒業

香川縣工藝學校

杉田精二 長野平

自 營

山本菊一 長野平

三菱造船所
(長崎)

小林俊之助 宮城平

高田商會(東京)

山成次夫 岡山平

東京帝室博物館

桑野寬 東京士

自 營

勝野久實 東京士

大正二年三月卒業

自 營

樋笠岩太郎 香川平

大正三年三月卒業

兵 役

西村敏彦 東京士

大正三年六月卒業

兵 役

常木庄藏 福島平

漆工科

科(明治二十二年二月開校ノ時漆工科ヲ置キ同二十五年十一月十九日
日蒔繪科ト改稱シ同二十九年七月八日ニ至リ復タ漆工科ト稱ス)

明治二十六年七月卒業

自 營 六角注多良 東京平

明治二十七年二月卒業

自 營

石川準禮 石川士

死 亡

津村米太郎 愛知士

自 營

秋月復郎 宮崎士

農商務省特許局

武谷富造 東京士

明治二十七年七月卒業

東京美術學校

石井吉次郎 東京士

死 亡

山本和 東京士

明治二十八年七月卒業

自 營

玉井正申 愛媛士

自 營

内藤源太郎 東京士

明治二十九年七月卒業

自 營

辻村延太郎 神奈川平

香川縣工藝學校

國重篤介 山口平

自 營

河村博亮 山口平

在安南國

石河壽衛彦 岡山士

場静岡縣工業試驗

中島袈裟彦 佐賀士

自 營

松田爲賀 鹿兒島士

卒業生姓名 漆工科

明治三十年七月卒業

自 營 磯矢邦之助 大阪平
自 營 萩原元次郎 静岡平
自 營 氏家靜修 岩手平

明治三十七八年
奉天ノ役戰死

明治三十一年七月卒業

死 亡 蒔田 實新 湯土 福島縣工業學校 兒島 明 静岡士

明治三十二年七月卒業

自 營 澤木彦門 福井士 自 營 三村耕三 東京士
自 營 土井藤四郎 三重平 自 營 吉澤 仲 東京平

明治三十三年七月卒業

石川縣工業學校 前川 佐一 佐賀平 石川縣工業學校 藤岡 金吾 東京平

明治三十五年七月卒業

青森縣工業學校 小岩 峻 岩手士

明治三十七年七月卒業

東京美術學校 堀井 政吉 富山平 和歌山縣黒江漆器學校 佐野 常榮 石川士

明治三十八年七月卒業

青森縣八戸町立
工業徒弟學校 常木 新藏 福島平

明治三十九年八月卒業

自 營 吉田彌太郎 東京士 自 營 岡本尙市 鳥取平

明治四十年三月卒業

自 營 原田謹次郎 愛知平 岡山私立工藝學校 福田 淡 岡山士

死 亡 吉川 格平 新潟平

明治四十一年三月卒業

死 亡 吉田 秀男 石川平 自 營 井上大次郎 富山平

香川縣工藝學校 甲谷 公香 川士 自 營 安江雅勝 石川平

自 營 石塚 章廣島士 死 亡 笠井彌市東京平

明治四十一年六月卒業

熊本市立工業徒 杉本誠 三石川士 弟學校

明治四十二年三月卒業

宮城縣漆工傳習 高中文助廣島平 死 亡 磯矢隆之東京平 所

明治四十二年六月卒業

自 營 龜山喜太郎香川平 靜岡物産陳列館 豐島銳郎靜岡平

明治四十三年三月卒業

在暹羅國 三木榮群馬士 自 營 吉野富雄千葉平

自 營 長谷川源太郎富山平

明治四十四年三月卒業

自 營 木村清東京平

明治四十五年三月卒業

自 營 香川源四郎香川士 自 營 古川茂一石川平

大正二年三月卒業

自 營 三野吉明香川士 自 營 酒卷洵埼玉平

自 營 藤芳太直熊本士 自 營 松林亥三郎石川平

大正三年三月卒業

研究科修業中 石崎誠二富山平 農商務省工業試驗場 五十嵐三次富山平

自 營 河野順一東京平 自 營 芝山清次富山平

自 營 蓮花宗二富山平 自 營 增川金松石川平

圖畫師範科

明治四十三年三月卒業

東京美術學校。波根義三山口市 岩手縣盛岡中學。森田清次郎岩手平 校

大阪府池田。高橋 貞治 富山平
 師範學校
 廣島縣三原女子。三尾 與喜藏 岐阜平
 師範學校
 自。營。郷原 藤一郎 長野平
 三重縣第一中學。我 妻 榮 吉山形平
 校
 長野縣松本女子。藤岡 龜三郎 新潟平
 師範學校
 自。營。德永 永吾七郎 熊本平
 廣島縣三次中學。三宅 宅三 岡山平
 校
 自。營。安岡 信義 鳥取士
 廣島縣廣島高等。筑瀬 由太郎 奈良平
 女學校
 東京府第三高等。今井 伴次郎 群馬平
 女學校
 福岡縣中學傳習。秋 山 任 茨城士
 館

朝鮮京城女子高。柴田 勝次 愛知平
 等普通學校
 福岡縣師範學校。小菅 敬左右 大阪平
 福岡縣師範學校
 鹿兒島女子高等。前園 正八郎 鹿兒島平
 小學校(休職)
 鹿兒島縣女子師。末光 富造 大分平
 範學校
 德島縣女子師範。山村 誠一郎 長野士
 學校
 私立高千穂中學。太田 久男 佐賀士
 校(東京)
 新潟縣糸魚川中。藍野 精一 千葉平
 學校
 高知縣師範學校。山本 淳 高知平

鳥取縣杵築中學。中根 孝治 山形士
 校
 福岡縣八女中學。安藤 義茂 愛媛士
 校
 私立南高輪小學。野口 涉 愛媛平
 校(東京)

明治四十四年三月卒業

長崎縣女子師範。岡 登 貞治 長野平
 學校
 鹿兒島縣川邊中。中津 安彦 熊本士
 學校
 京都府女子師範。吉 田 久 埼玉平
 學校(休職)
 長野縣野澤中學。小澤 秋成 長野平
 校
 山口縣山口高等。山岸 貞一 山形士
 女學校

兵庫縣姫路高等。湧 口 滿 福井士
 女學校
 岩手縣一關中學。田 中 寬 熊本平
 校
 鳥根縣濱田高等。佐藤 七之助 山形士
 女學校
 鳥根縣松江中學。山本 四郎 神奈川平
 校
 鳥根縣濱田中學。飯田 文一 富山平
 校

明治四十五年三月卒業

群馬縣女子師範。幕谷 四郎 三重平
 學校
 佐賀縣師範學校。末 廣 長 大分平
 校
 栃木縣足利高等。志賀 九十郎 北海道平
 女學校
 佐賀縣鹿島高等。花 曲 義平 山梨平
 女學校
 富山縣師範學校。曾根 末次郎 東京士
 校
 群馬縣高崎高等。小塚 義一郎 静岡平
 女學校

長野縣諏訪中學。西岡 瑞穂 高知平
 校
 大阪府農學校。真 鍋 蕃 香川平
 校
 岡山縣師範學校。畦地 久壽馬 高知平
 校
 青森縣師範學校。松崎 巍七郎 福島平
 校
 群馬縣女子師範。高瀬 猪一郎 大阪平
 學校(休職)
 大阪府堺中學校。福 島 章 鳥根士

大阪市浪華小學	鹽月善吉	福岡縣小倉高等女學校	荒川	潔福岡士
廣島市尾道高等女學校	大河內定雄	滋賀縣大津小學	市川邦彦	靜岡士
大分縣女子師範學校	權藤種男	京都府伏見町彰德小學兼農事試驗場	海老原茂	群馬士
自營	霜田利平	香川縣女子師範學校	圓藤義雄	廣島平
和歌山縣新宮高等女學校	佐藤謙太郎			
大正二年三月卒業				
私立錦秋實科高等女學校(東京)	小坂留太郎	大阪市浪華第一小學校(休職)	中村義守	岩手平
千葉縣女子師範學校	新野利三郎	死	工藤廉平	大分士
東京市台東小學	杉浦魁	青森縣師範學校	阿部忠助	岩手平
茨城縣龍ヶ崎中學	宮內陽三	栃木縣宇都宮高等女學校	小堀	章茨城平
大阪市育英高等小學	佐藤三代治	京都市成德小學	武田新太郎	長野平
北海道小樽中學	小林金治	校明倫小學	一年志願兵	高見學
				福岡士

大正三年三月卒業

沖繩縣師範學校	石川彌八郎	廣島縣福山中學校	木山一雄	岡山平
山梨縣師範學校	大澤左一	栃木縣宇都宮中學校	服部寅男	熊本士
岩手縣師範學校	石川	東京市數矢小學	渡部儀八	福島平
大正三年三月卒業				
大阪市久寶尋常小學	尾川藤十郎	長崎縣佐世保高等女學校	小林長太	長崎平
奈良縣師範學校	塚田清吉	自營	宮崎	熊本士
北海道函館師範學校	宮森正三郎	樺太廳中學校	太田政太郎	香川平
長野縣長野中學	横山貞通	宮崎縣都城中學	高橋房雄	宮城平
宮城縣仙臺第二中學校	久保	神戶市雲中高等小學	木南三千三	兵庫平
大阪市天王寺第三第五小學	大脇朝一	神戶市小野柄小學校	西銘生樂	沖繩士
東京市柳島小學	接待庸夫	東京市京橋小學	平岡信敏	熊本士
自營	中島繼次郎	東京市富士前小學校	田中卓爾	靜岡平

長野縣飯田高等女學校
宮崎縣延岡中學

愛知縣第二師範學校
愛媛縣宇和島高等女學校

日本畫選科

明治二十六年七月卒業

自 營 本多 佑輔 東京士

明治二十八年二月卒業

自 營 德田 鎬一 靜岡平

明治二十八年七月卒業

在 米 國 赤羽 知足 長野平

明治三十一年七月卒業

國光社(東京) 狩野 誠信 東京士

明治三十二年七月卒業

死 亡 河津 祐信 東京士

那須 義美 山形平
有馬 廣厚 福岡士

自 營 御船 綱手 大阪平

(國民新聞社) 平福 貞藏 秋田平

自 營 小山 亮 茨城平

明治三十三年七月卒業

私立高梁順正女學校(岡山縣)
靜岡縣靜岡中學

自 營 筆谷 儀三郎 北海道平

× 土佐 光一 京都士

明治三十四年七月卒業

自 營 渡邊 吉太郎 福井士

(三越吳服店) 杉浦 朝武 愛媛士

死 亡 田中 重次郎 福島士

(三越吳服店) 磐瀨 純 東京士

死 亡 森川 安次 富山平

自 營 田中 雅行 東京平

自 營 村崎 政昶 熊本士

自 營 村上 金次郎 東京士

明治三十五年七月卒業

自 營 淺野 春二 京都平

自 營 金井 忠三 長野平

審美書院東京 後藤 浪吉 東京平 自
 自 營 田 中 忠 彦 廣島平 自
 自 營 橫山 新太郎 神奈川平 自
 自 營 櫻 井 清 東京士

明治三十六年七月卒業

自 營 伊 藤 繁 延 東京士 自
 大阪府堺市高等女學校 長谷川 綠 邦 福島平 自
 自 營 福 岡 義 雄 東京士 三越吳服店
 自 營 橫 山 爲 雄 秋田士 死 亡 金 原 利 一 千葉士
 佐賀縣佐賀高等女學校 井 芹 一 二 熊本平

明治三十七年七月卒業

私立女子美術學校(東京) × 益 田 珠 城 宮崎士 山口縣山口中學 × 佐 治 友 八 福島平
 日本紙器製造會社(東京) 植 松 盛 之 助 長野平

明治三十八年七月卒業

自 營 勝 田 良 雄 福島士 自 營 三 浦 孝 東京士
 審美書院(東京) 金子 朔太郎 東京士 自 營 古 賀 源 四 郎 佐賀平
 自 營 木 村 鑛 吉 京都平 自 營 伊 藤 豐 吉 東京平
 自 營 石 島 文 太 郎 茨城平 自 營 吉 田 正 七 静岡士

明治三十九年四月卒業

自 營 平 田 榮 二 山形華 自 營 × 水 谷 四 郎 長野平
 自 營 平 木 彌 一 郎 石川平

明治三十九年六月卒業

自 營 多 田 雄 三 千葉平

明治四十年三月卒業

自 營 桐 谷 長 之 助 東京士 自 營 山 村 豐 成 東京平